

空家等所有者又は管理者への
アンケート調査結果

令和7年11月

鏡野町くらし安全課

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の対象.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査期間.....	1
5. 調査票の配布・回収状況.....	1
6. 報告書の見方.....	1
7. 調査の内容.....	1
8. 調査結果の集計・分析.....	3
II 調査結果	4
1. 対象家屋は空き家か否か.....	4
2. 回答者について.....	6
3. 空き家の所有者について.....	7
4. 家屋の取得経過について.....	8
5. 空き家の所有者の人数について.....	9
6. 空き家の建築時期について.....	10
7. 空き家の延べ床面積について.....	11
8. 空き家の利用状況について.....	12
9. 空き家の最終使用者について.....	14
10. 空き家になった時期について.....	16
11. 空き家の管理について心配なこと.....	17
12. 空き家の現在の管理について.....	18
13. 空き家の維持管理費用について.....	21
14. 空き家の維持管理上の課題について.....	22
15. 空き家のリフォームについて.....	23
16. 今後5年の空き家利用の意向について.....	25
16-2. 買い手借り手の募集について.....	27
16-3. 売却、賃貸の課題について.....	28
16-4. 寄付、贈与に対する費用負担について.....	30
16-5. 取り壊し費用の用意について.....	30
16-6. 取り壊し後の土地の利用について.....	32
16-7. 売却・賃貸しない、取り壊さない理由について.....	33
17. 空き家問題解決のための制度について.....	35
18. 空き家情報登録制度の認知度について.....	37
19. 空家等対策に関するご意見.....	38
III 参考資料	39
1. 意向調査票.....	4440

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

令和2年度に策定した「鏡野町空家等対策計画」の見直しを図り、新たに「第2次鏡野町空家等対策計画」の策定の基礎資料とするため、アンケート方式による実態調査を実施しました。

2. 調査の対象

令和6年度に実施した「鏡野町空家等実態調査」において、外観目視により、普段使用していない可能性が高いと判断した家屋について、令和7年1月1日時点の固定資産税情報より把握した家屋所在地の土地所有者の方を対象としました。

3. 調査方法

郵送により調査票の配布、回収を行いました。
また、回答についてはWEB回答併用としました。

4. 調査期間

調査期間：令和7年7月28日～8月31日
回収期間：令和7年7月28日～11月5日

5. 調査票の配布・回収状況

アンケートの配布数は1,264件で、回収数は533件でした。
有効回収数は527件で、有効回収率は41.6%でした。

全対象者数	1,279					
調査対象外	15					
調査対象数	1,264	⇒				
			あて所なし（未到達）	211		
			回答あり（WEB）	67		
			回答あり（郵送）	466		
				⇒		
					有効回答数	527
					無効回答数	6

6. 報告書の見方

- (1) 比率(%)は、設問毎の全回答数を100とした時のそれぞれの割合を百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているために、比率の数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 図中の選択肢表記について、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

7. 調査の内容

設問は、全20問あり、回答項目は【選択回答（単一または複数）】【記入回答】【自由回答】となっています。

調査票については、「Ⅲ参考資料」のとおりです。

なお、単一の選択回答に対して複数の回答があった場合の回答の取り扱いについては、下記の通りとしました。

状 況	対処法
【問 6】複数回答	番号の若い方（建築年が古い方）を採用
【問 8】複数回答	全回答有効
【問 9】が 6、7、無回答だが【問 9-2】に回答	【問 9-2】は無効回答
【問 9】が 1～5 かつ【問 9-2】2 つ以上に○	番号の若い方を採用
【問 11】複数回答	全回答有効
【問 12】が 5～7 だが【問 12-2】に回答している	【問 12】が 7 の場合は【問 12-2】は有効、5・6 の場合は【問 12-2】は無効回答
【問 12】が 5～7 だが【問 12-3】に回答している	【問 12】が 7 の場合は【問 12-3】は有効、5・6 の場合は【問 12-3】は無効回答
【問 12】が無回答だが【問 12-2】に回答している	【問 12-2】は有効回答とする
【問 12】が無回答だが【問 12-3】に回答している	【問 12-3】は有効回答とする
【問 13】複数回答	番号の大きい方（金額の高い方）を採用
【問 15】複数回答	番号の若い方を採用
【問 15-2】複数回答	番号の若い方を採用
【問 15】が 1、3、無回答で【問 15-2】に回答している	【問 15-2】は有効回答とする
【問 16】が 1、2 以外だが【問 16-2】に回答している	【問 16-2】は有効回答とする
【問 16】が 1、2 以外だが【問 16-3】に回答している	【問 16-3】は有効回答とする
【問 16】が 3 以外だが【問 16-4】に回答している	【問 16-4】は有効回答とする
【問 16】が 5 以外だが【問 16-5】に回答している	【問 16-5】は有効回答とする
【問 16】が 5 以外だが【問 16-6】に回答している	【問 16-6】は有効回答とする
【問 16】が 7 以外だが【問 16-7（共通）】に回答している	【問 16-7（共通）】は有効回答とする
【問 16】が 7 以外だが【問 16-7（売却等）】に回答している	【問 16-7（売却等）】は有効回答とする
【問 16】が 7 以外だが【問 16-7（取壊）】に回答している	【問 16-7（取壊）】は有効回答とする
【問 16】複数回答	全回答有効
【問 16-4】複数回答	番号の若い方を採用
【問 16-6】複数回答	番号の若い方を採用
【問 17】3 つ以上の回答	全回答有効

※設問毎に、回答者数と回答数は一致しないことがある

※集計は単純集計とし、設問毎に、総回答数を分母として各設問のパーセンテージを算出する

8. 調査結果の集計・分析

アンケートの各設問に対して単純集計を行い、グラフ等を用いて分析を行いました。

Ⅱ 調査結果

Ⅱ 調査結果

1. 対象家屋は空き家か否か

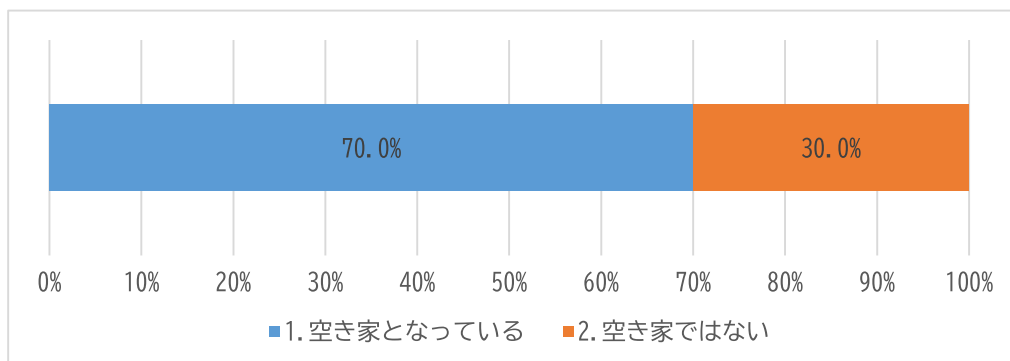
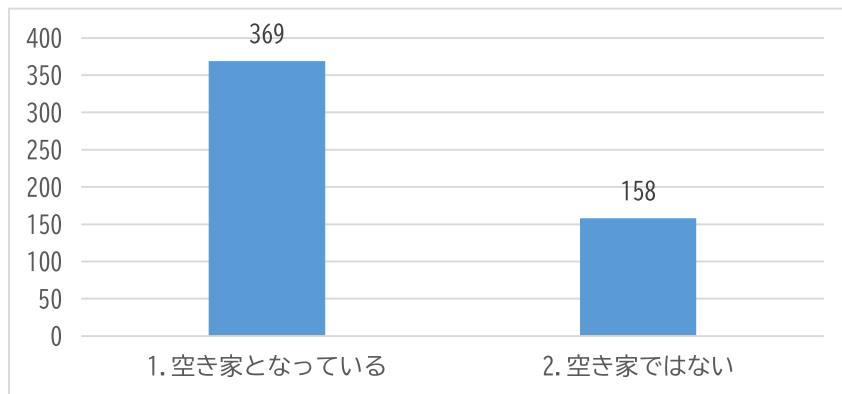
問1 上記住所に存在する家屋は、「空き家」となっていますか。(いずれかに○)

- 1 空き家となっている → 問2へお進みください。
- 2 空き家ではない → 問1-2へお進みください。

問1-2 空き家でない理由をお答えください。(1つに○)

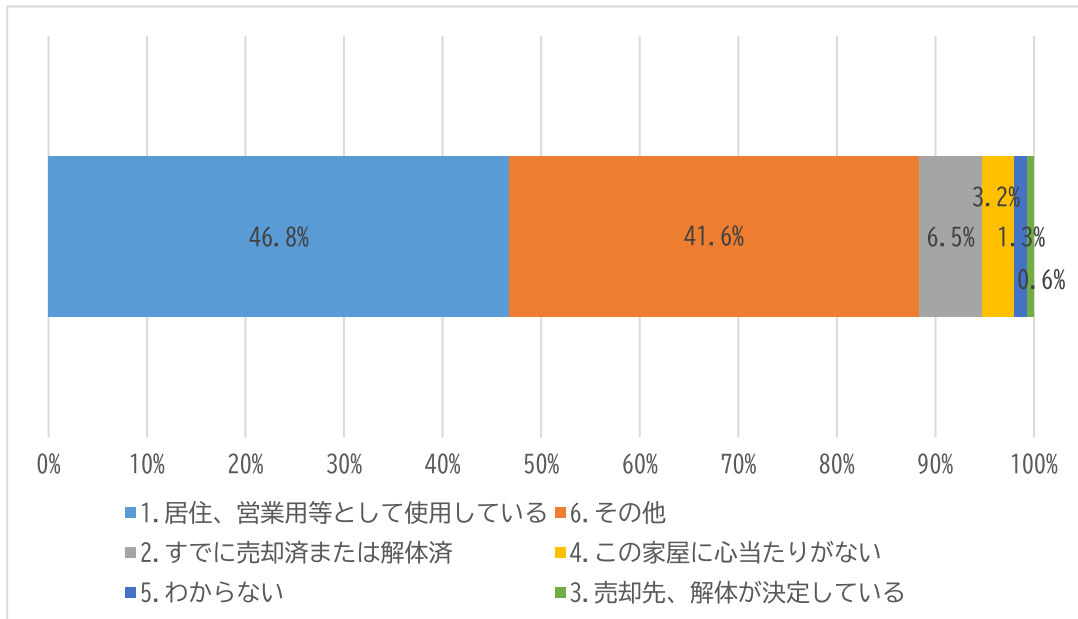
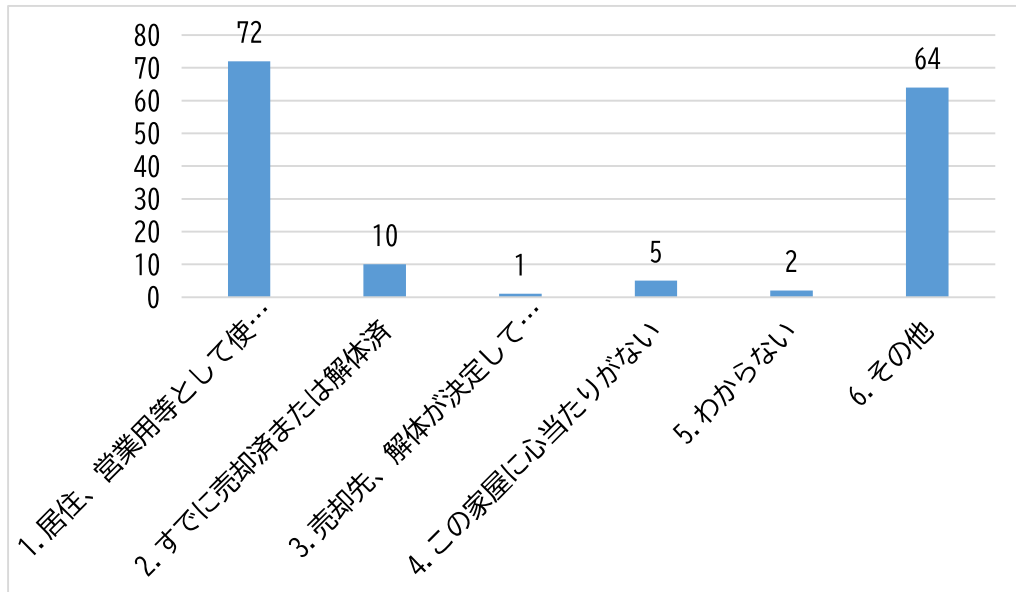
- 1 居住、営業用等として使用している
- 2 すでに売却済または解体済
- 3 売却先、解体が決定している
- 4 この家屋に心当たりがない
- 5 わからない
- 6 その他 ()

【問1】 該当住所に存在する家屋は、「空き家」となっていますか。



■全回答数 527 件に対し、「空き家となっている」が 369 件 (70.0%)、「空き家ではない」が 158 件 (30.0%) であった。

【問1—2】空き家でない理由をお答えください。



■ 「空き家ではない」理由のうち、最も多かった回答は「居住、営業用等として使用している」で72件（46.8%）であった。外観目視による判定との乖離が一定程度あることがわかる。

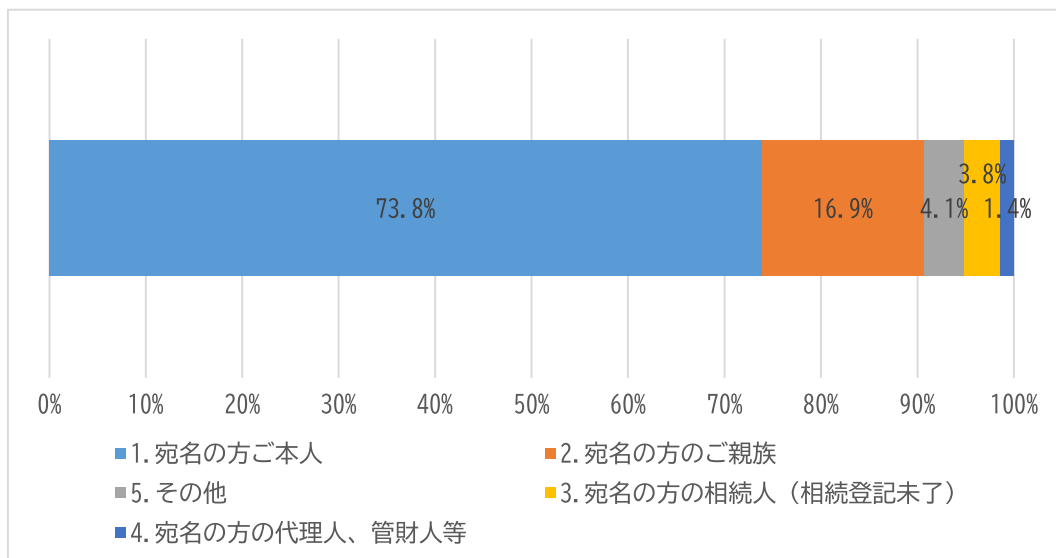
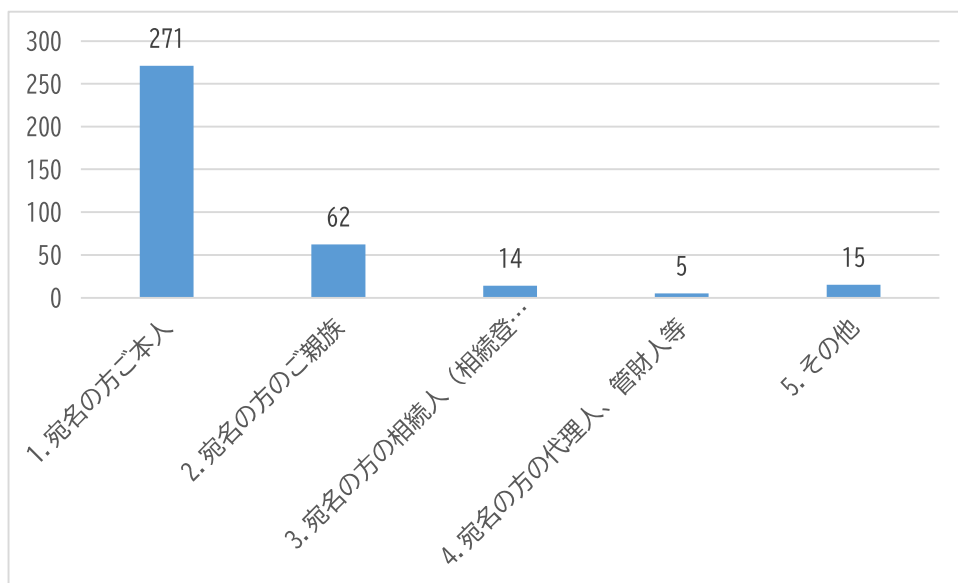
また、「その他」と回答された中では、「倉庫、物置として利用している」という回答が多くみられた。

2. 回答者について

問2 この調査にお答えいただく方はどなたですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 宛名の方ご本人 | 4 宛名の方の代理人、管財人等 |
| 2 宛名の方のご親族 | 5 その他 () |
| 3 宛名の方の相続人 (相続登記未了) | |

【問2】 この調査にお答えいただく方はどなたですか。



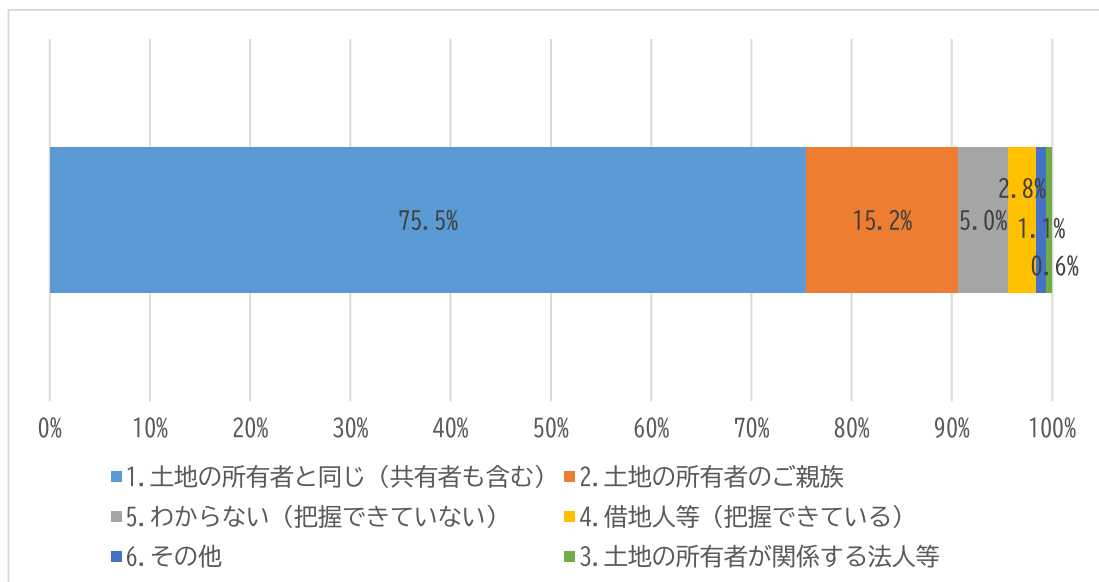
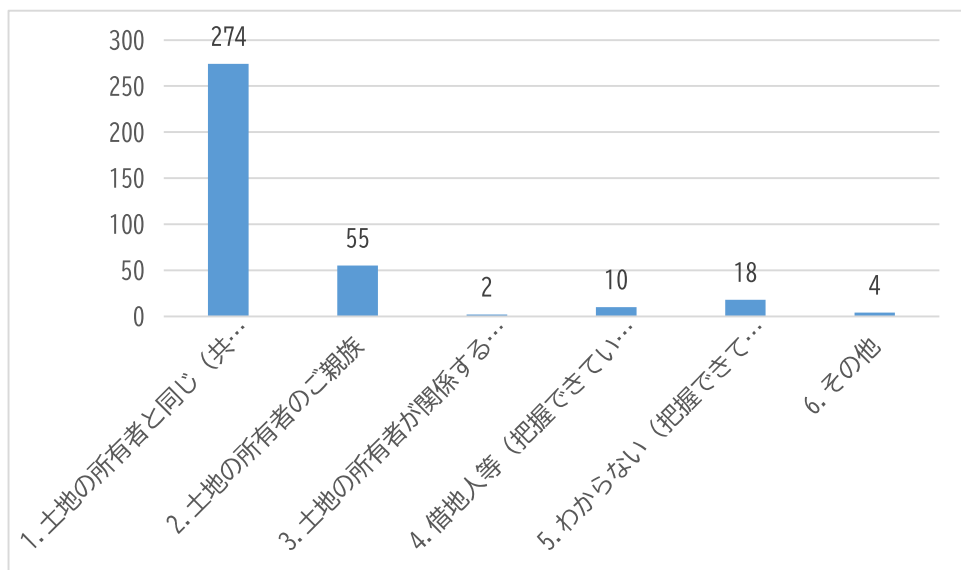
■回答者については、「宛名の方ご本人」が最も多く73.8%、次いで「宛名の方のご親族」16.9%と合わせると全体の9割を占める結果となっている。
また、「その他」の内容としては、「施設スタッフ」「成年後見人」などの回答がみられた。

3. 空き家の所有者について

問3 この空き家の所有者は、次のいずれにあたりますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 土地の所有者と同じ（共有者も含む） | 4 借地人等（把握できている） |
| 2 土地の所有者のご親族 | 5 わからない（把握できていない） |
| 3 土地の所有者が関係する法人等 | 6 その他（ ） |

【問3】この空き家の所有者は、次のいずれにあたりますか。



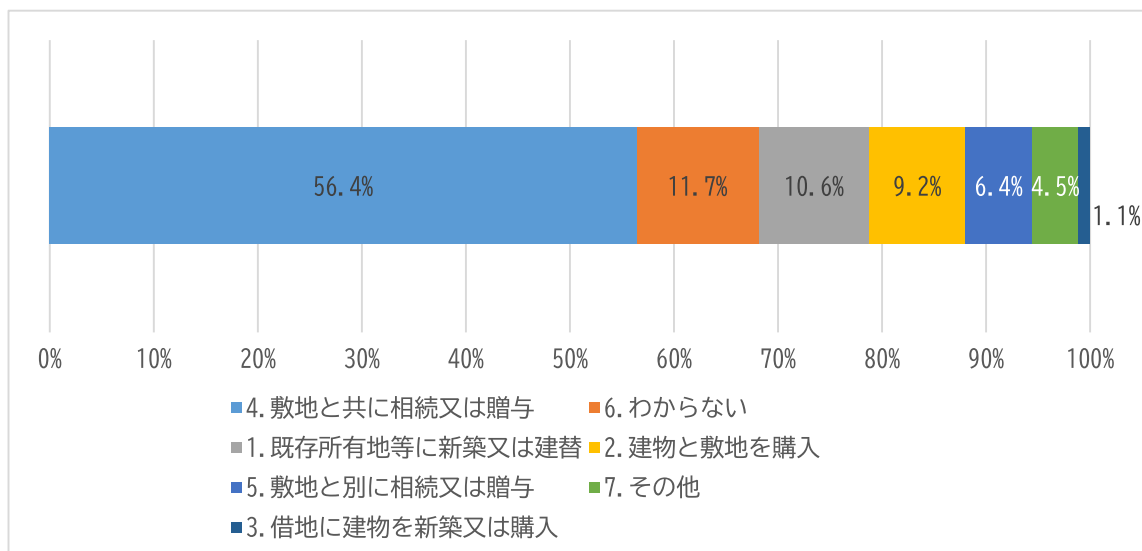
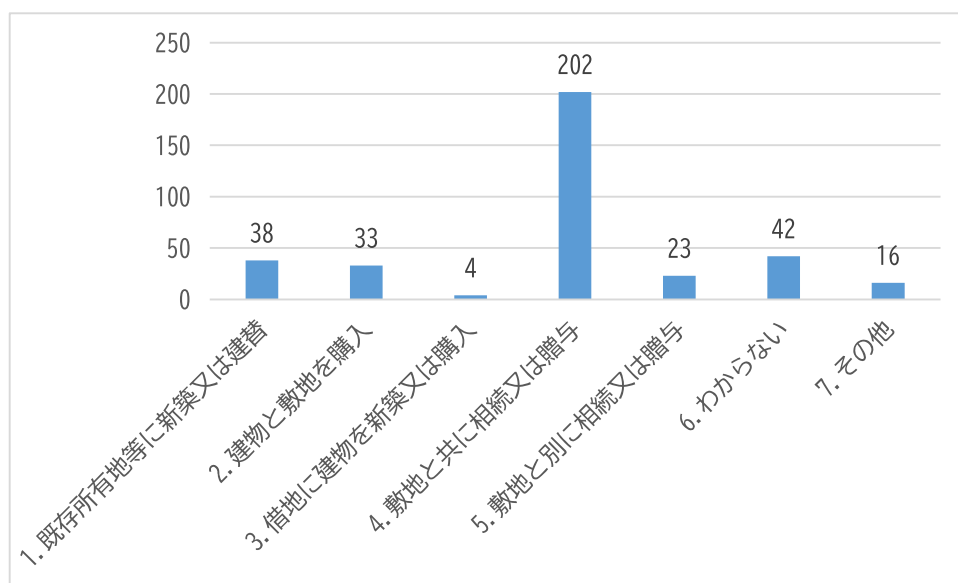
■空き家の所有者については「土地の所有者と同じ」が最も多く75.5%、「土地の所有者のご親族」15.2%と合わせると全体の9割を占める結果となっている。また、「その他」の内容としては、「故人の名義」、「不明」などの回答があった。

4. 家屋の取得経過について

問4 この空き家の所有者は、どのような経過で家屋を取得しましたか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 既存所有地等に新築又は建替 | 5 敷地と別に相続又は贈与 |
| 2 建物と敷地を購入 | 6 わからない |
| 3 借地に建物を新築又は購入 | 7 その他 () |
| 4 敷地と共に相続又は贈与 | |

【問4】この空き家の所有者は、どのような経過で家屋を取得しましたか。



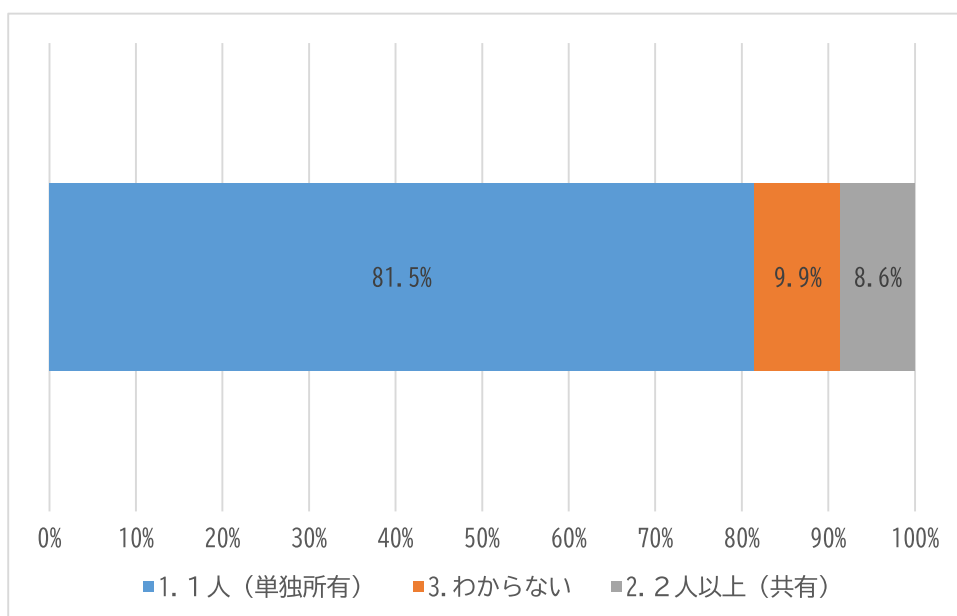
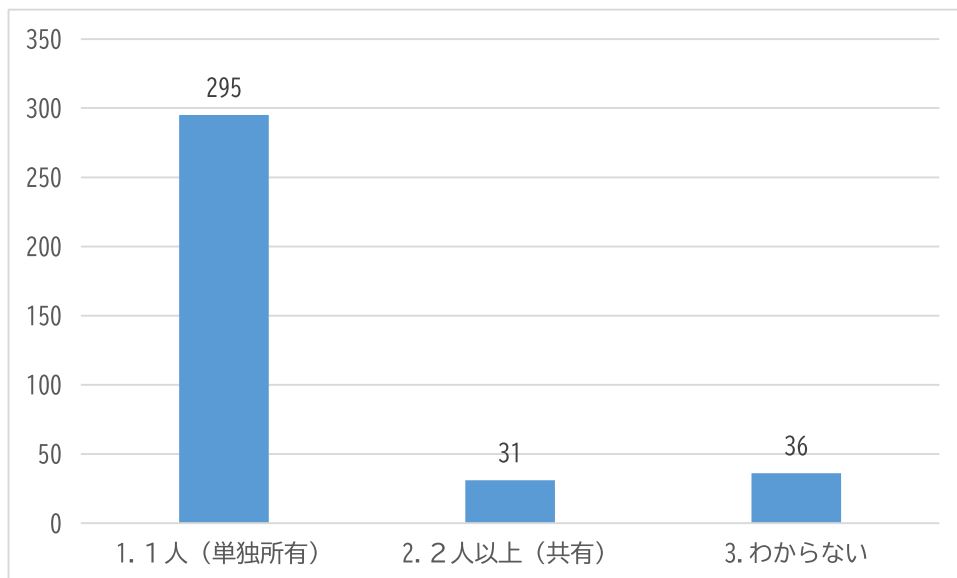
■家屋の取得経過については、「敷地と共に相続または贈与」が56.4%と最も大きく、次いで「わからない」が11.7%、「新築又は建替」が10.6%、「建物と敷地を購入」が9.2%の順となっている。

5. 空き家の所有者の人数について

問5 この空き家の所有者は何人ですか。(1つに○)

1 1人(単独所有) 2 2人以上(共有) 3 わからない

【問5】この空き家の所有者は何人ですか。



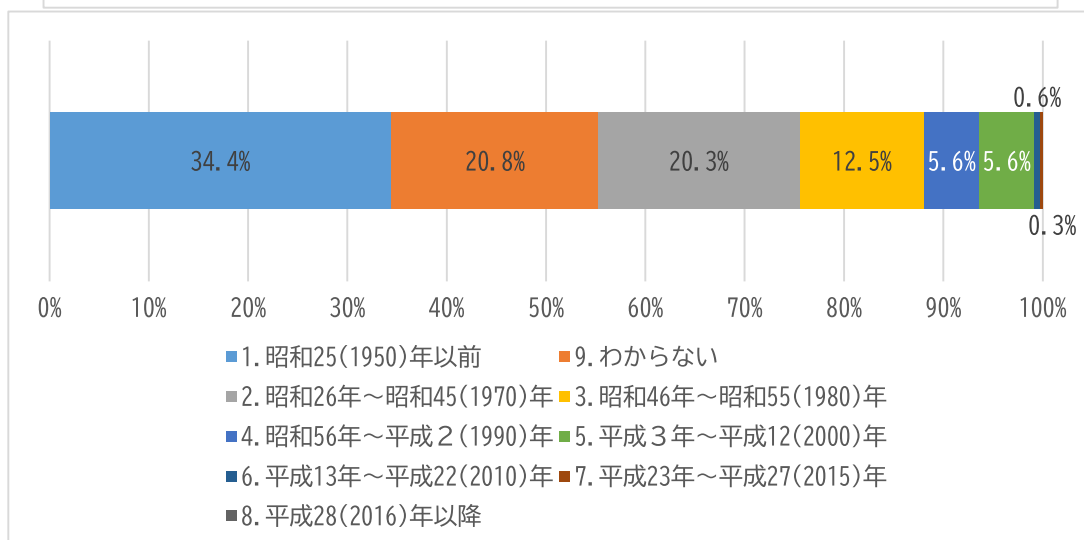
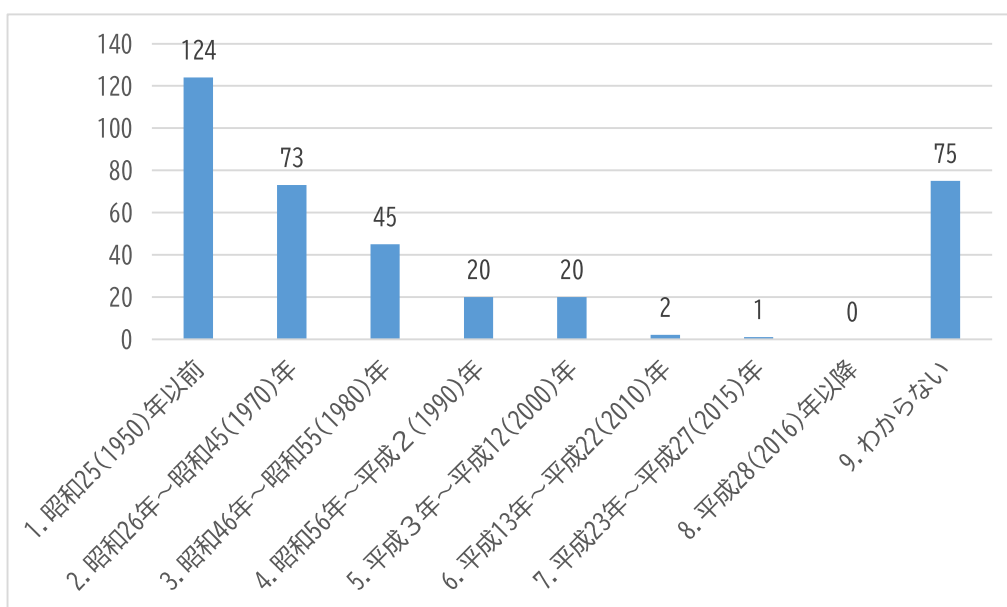
■空き家の所有者の人数については、「1人(単独所有)」が81.5%と最も多くなっている。

6. 空き家の建築時期について

問6 この空き家の「建築時期」はいつ頃ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 昭和25(1950)年以前 | 6 平成13年～平成22(2010)年 |
| 2 昭和26年～昭和45(1970)年 | 7 平成23年～平成27(2015)年 |
| 3 昭和46年～昭和55(1980)年 | 8 平成28(2016)年以降 |
| 4 昭和56年～平成2(1990)年 | 9 わからない |
| 5 平成3年～平成12(2000)年 | |

【問6】この空き家の「建築時期」はいつ頃ですか。



■空き家の建築時期については、「昭和25年以上前」が34.4%と最も大きく、平成12年(2000年)以前に建築されたものがほとんどであった。一方で「わからない」も20.8%と約2割を占めている。

7. 空き家の延べ床面積について

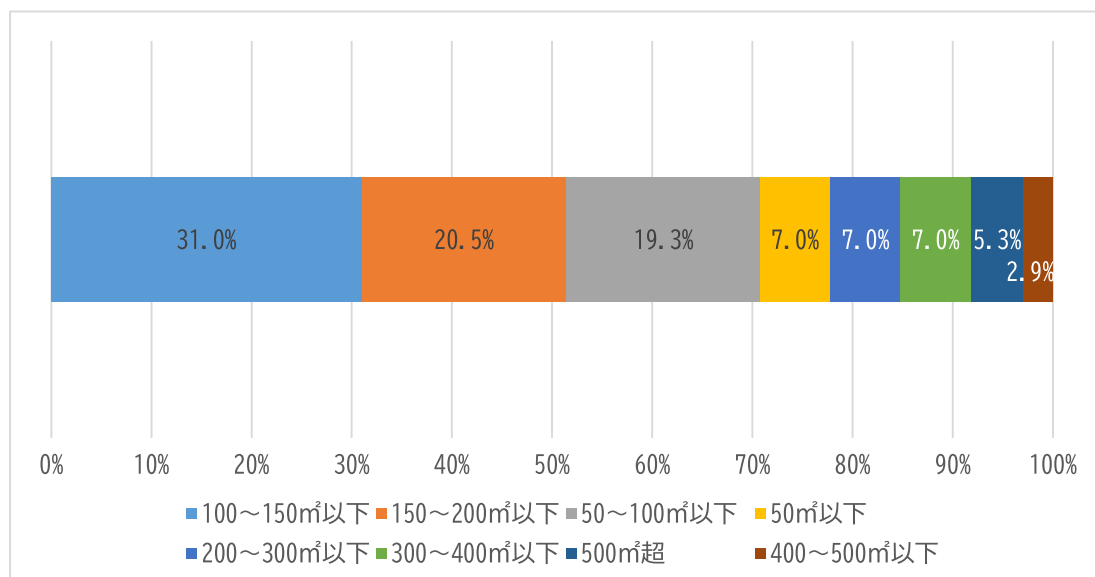
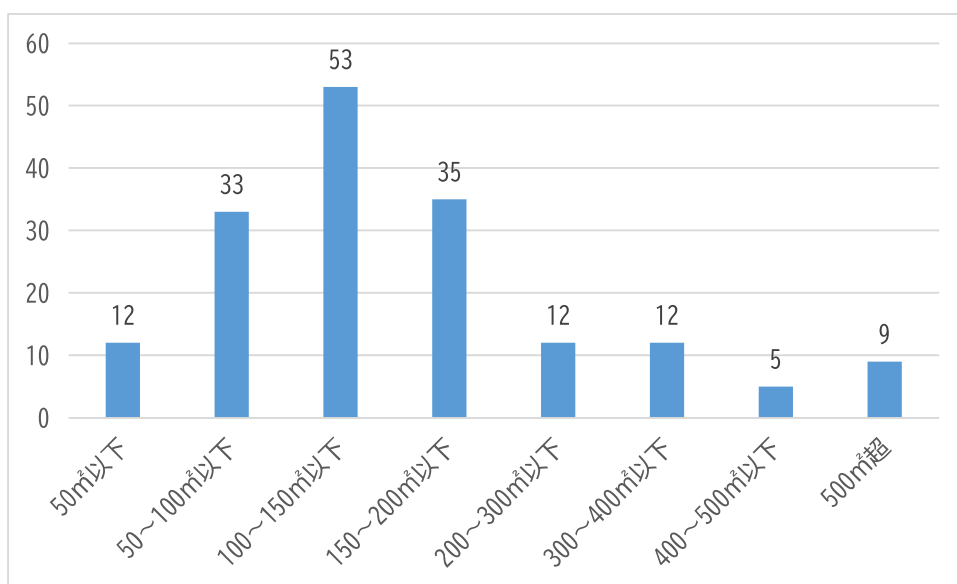
問7 この空き家の「延べ床面積」はどれくらいですか。（倉庫等附属建物は除く）

（ ）㎡ または （ ）坪 1坪≒3.3㎡

※大体の面積で結構ですので、どちらかにご記入ください。

わからない場合は空白のままでもかまいません。

【問7】 この空き家の「延べ床面積」はどれくらいですか。



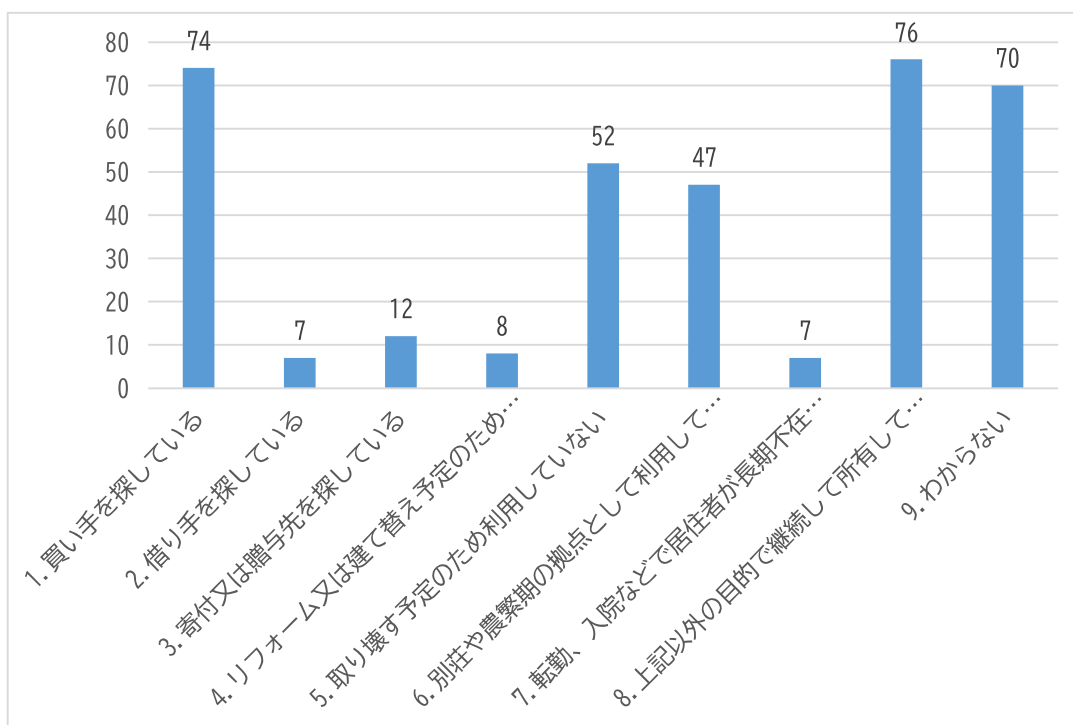
■空き家の延べ床面積は「100㎡～150㎡」が31.0%で最も多い結果となり、50㎡から200㎡までで全体の7割を超えている。

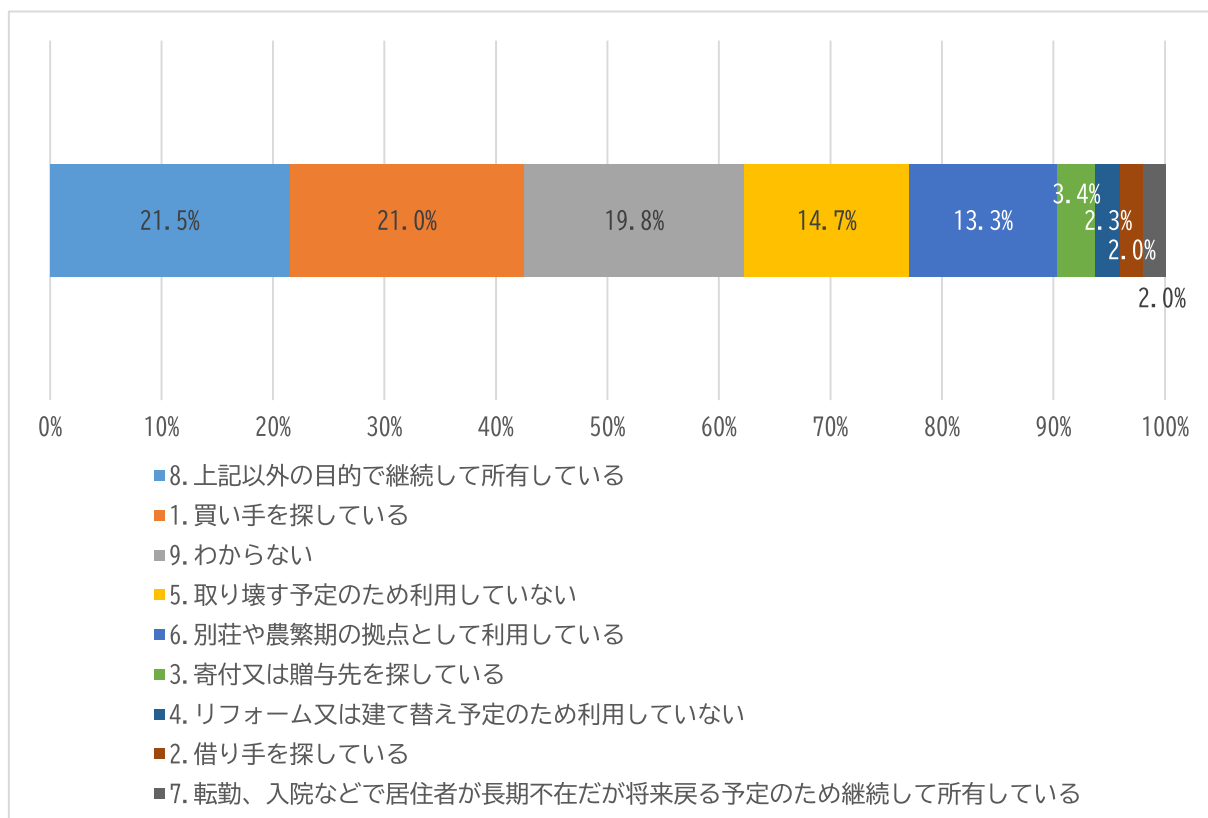
8. 空き家の利用状況について

問8 現在、この空き家はどのように利用されていますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 買い手を探している | 6 別荘や農繁期の拠点として利用している |
| 2 借り手を探している | 7 転勤、入院などで居住者が長期不在だが将来戻る予定のため継続して所有している |
| 3 寄付又は贈与先を探している | 8 上記以外の目的で継続して所有している () |
| 4 リフォーム又は建て替え予定のため利用していない | 9 わからない |
| 5 取り壊す予定のため利用していない | |

【問8】現在、この空き家はどのように利用されていますか。





■空き家の利用状況については、「上記以外の目的で継続して所有している」が21.5%と最も大きく、次いで「買い手を探している」が21.0%、「わからない」が19.8%の順となっている。

また「取り壊す予定のため利用していない」が14.7%、「別荘や農繁期の拠点として利用している」が13.3%と一定数みられた。

また、「上記以外の目的で継続して所有している」の内容としては、「墓参りの拠点」「物置」「利用していない」などの回答がみられた。

9. 空き家の最終使用者について

問9 この空き家を最後に使用していたのは誰ですか。(1つに○)

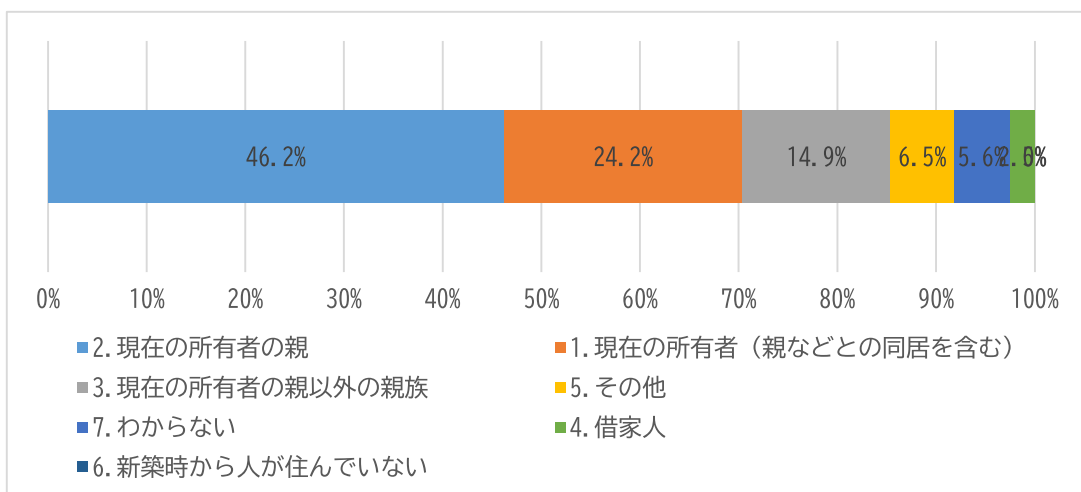
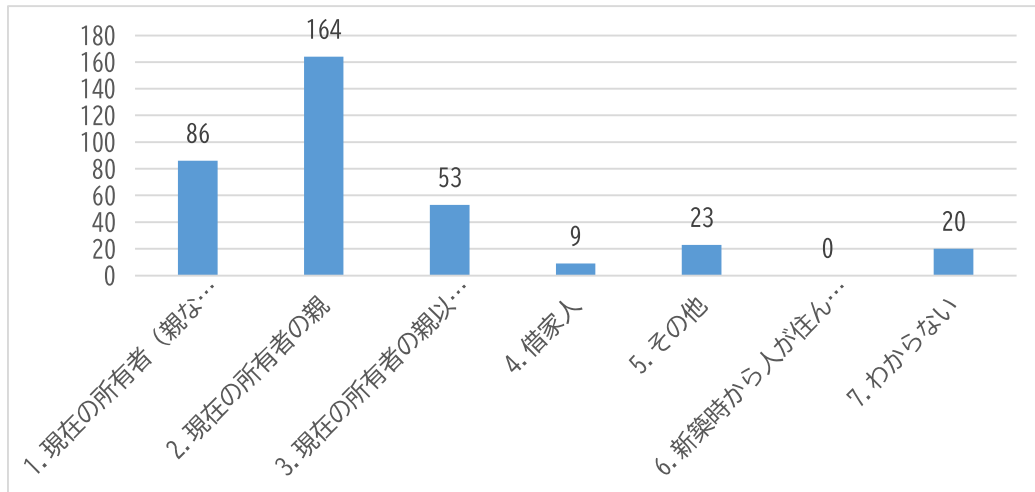
- 1 現在の所有者（親などとの同居を含む）
- 2 現在の所有者の親
- 3 現在の所有者の親以外の親族
- 4 借家人
- 5 その他（ ）
- 6 新築時から人が住んでいない
- 7 わからない

1～5を選んだ方は下記の問いにもお答えください。

問9-2 住まなくなったのはなぜですか。(最も近いもの1つに○)

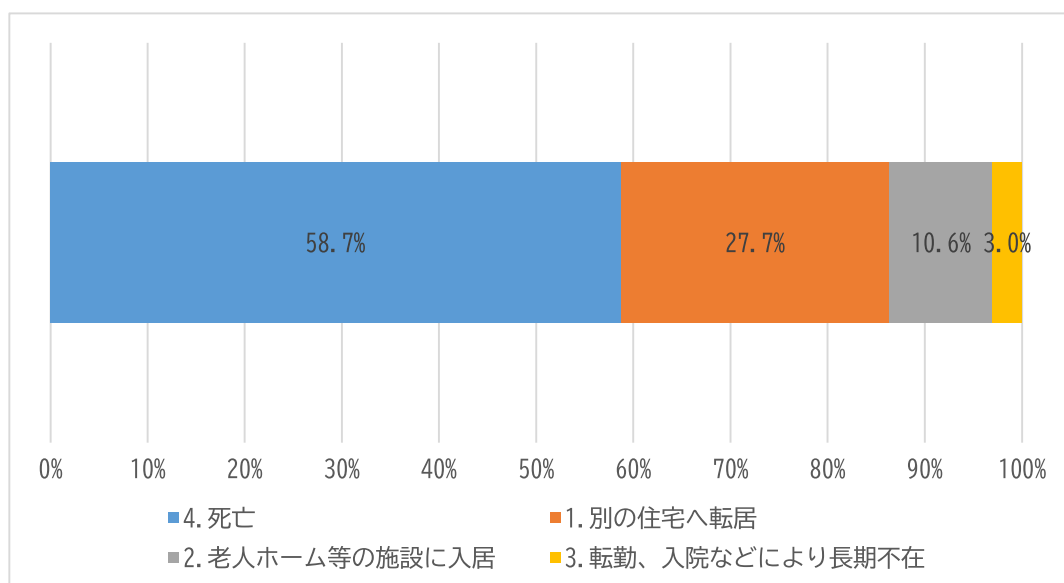
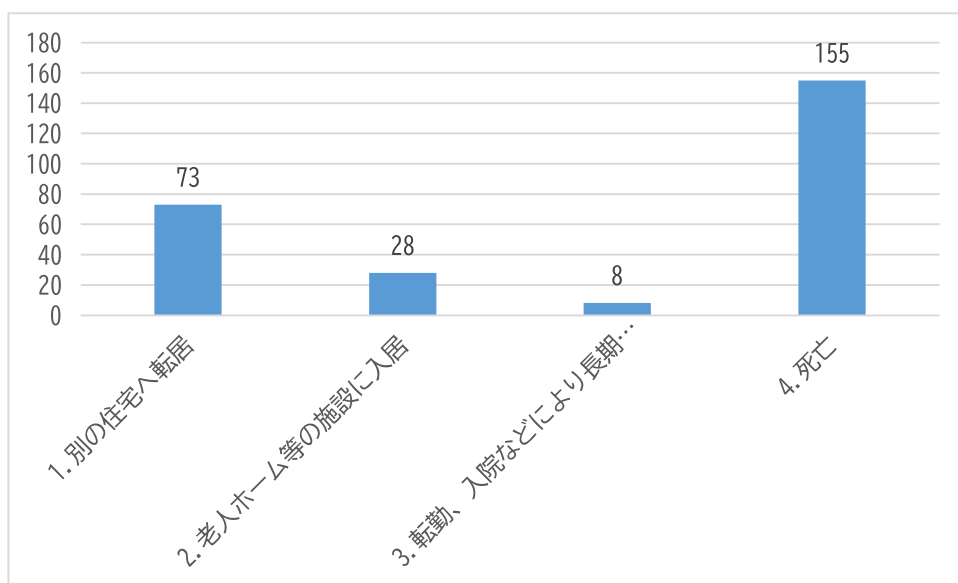
- 1 別の住宅へ転居
- 2 老人ホーム等の施設に入居
- 3 転勤、入院などにより長期不在
- 4 死亡

【問9】 この空き家を最後に使用していたのは誰ですか。



■空き家の最終利用者については、「現在の所有者の親」が46.2%と最も大きく、「現在の所有者」の24.2%と合わせると全体の7割を占めている。また、「その他」の内容としては、親族の具体的な続柄を記載されているものがほとんどであった。

【問9-2】 住まなくなったのはなぜですか。



■住まなくなった理由としては「死亡」が58.7%と最も大きく、次いで「転居」が27.7%、「施設に入居」が10.6%の順となっている。

10. 空き家になった時期について

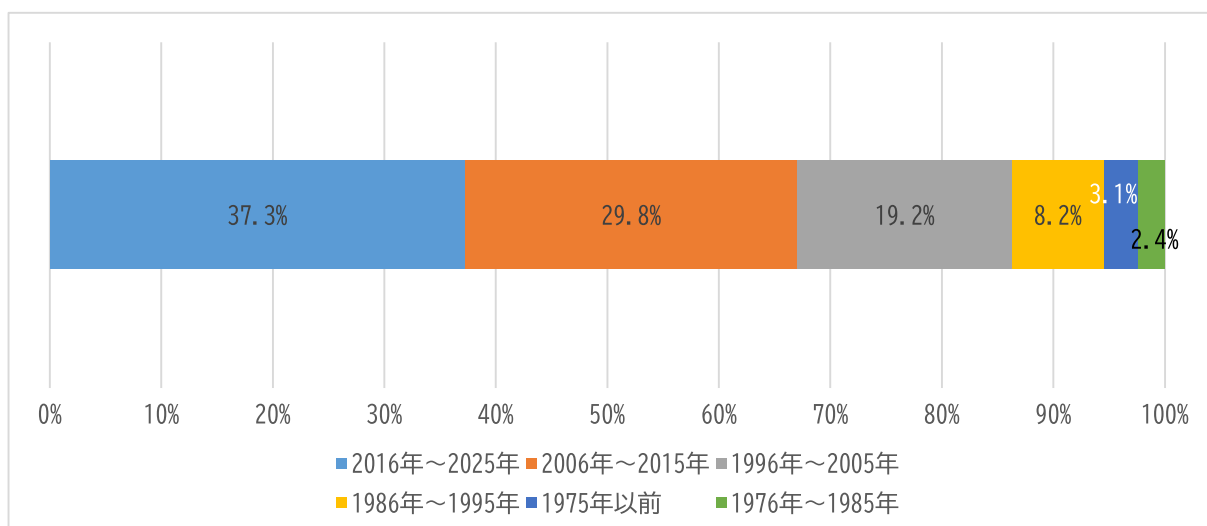
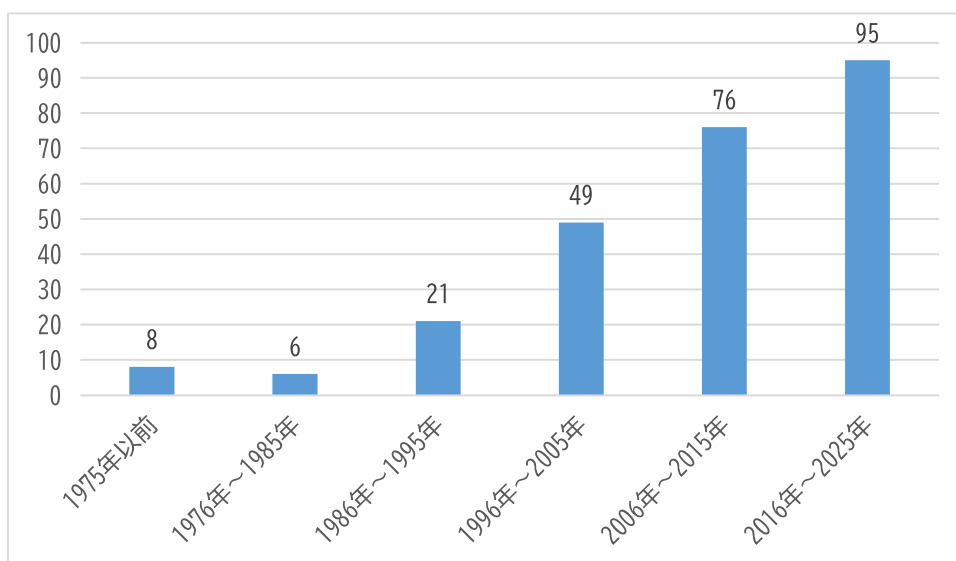
問10 この空き家が「空き家になった時期」はいつ頃ですか。

(和暦又は西暦のいずれかに○をつけ、()内に年月を記入してください)

(昭和 ・ 平成 ・ 令和 ・ 西暦) () 年 () 月頃

※おおよその時期で結構です。わからない場合は空白のままでもかまいません。

【問10】この空き家が「空き家になった時期」はいつ頃ですか。



■空き家になった時期については直近10年間である「2016年～2025年」が37.3%と最も大きく、全体的な傾向としては、1986年以降に増加していることがわかる。

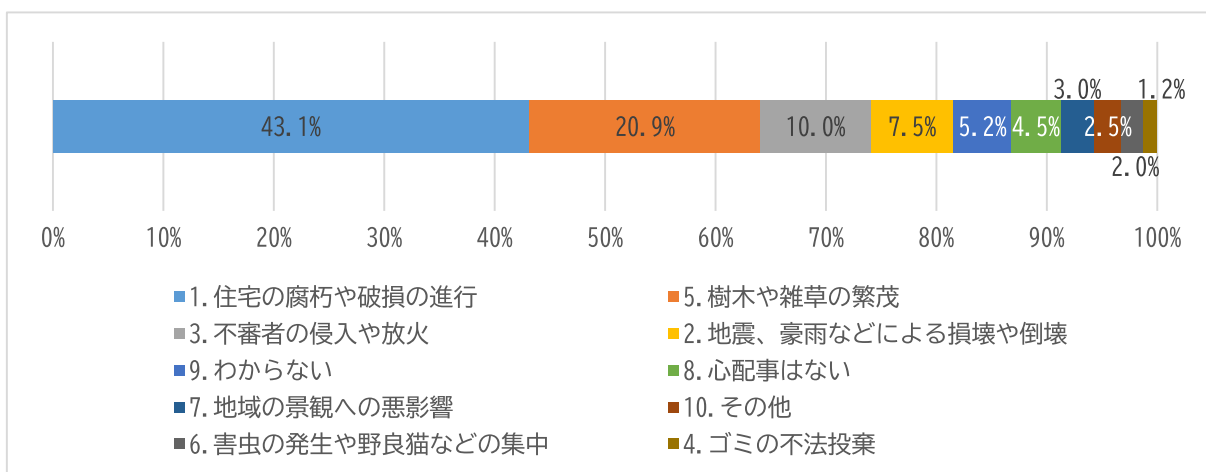
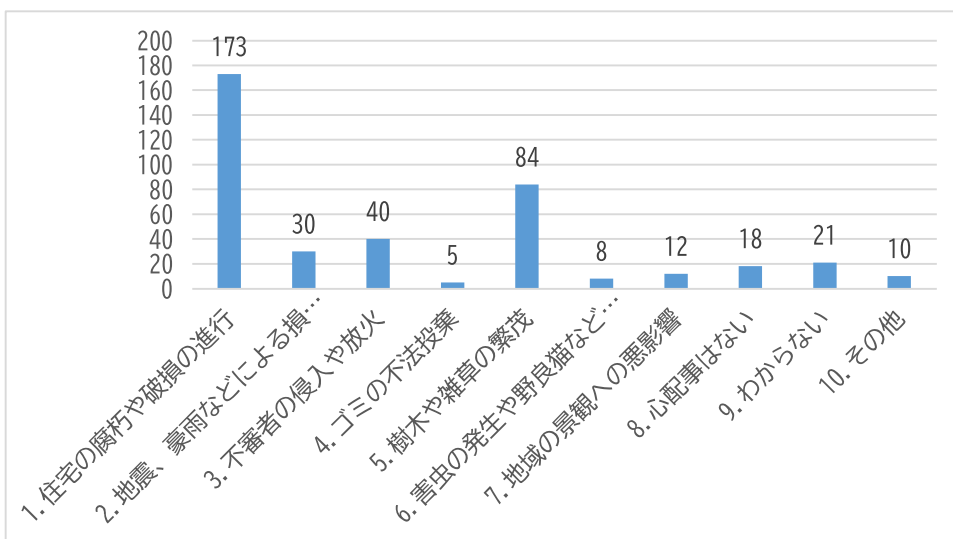
11. 空き家の管理について心配なこと

問11 あなたは、この空き家の管理についてどのようなことを心配していますか。

(最も深刻なもの1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 住宅の腐朽や破損の進行 | 6 害虫の発生や野良猫などの集中 |
| 2 地震、豪雨などによる損壊や倒壊 | 7 地域の景観への悪影響 |
| 3 不審者の侵入や放火 | 8 心配事はない |
| 4 ゴミの不法投棄 | 9 わからない |
| 5 樹木や雑草の繁茂 | 10 その他 () |

【問11】 あなたは、この空き家の管理についてどのようなことを心配していますか。



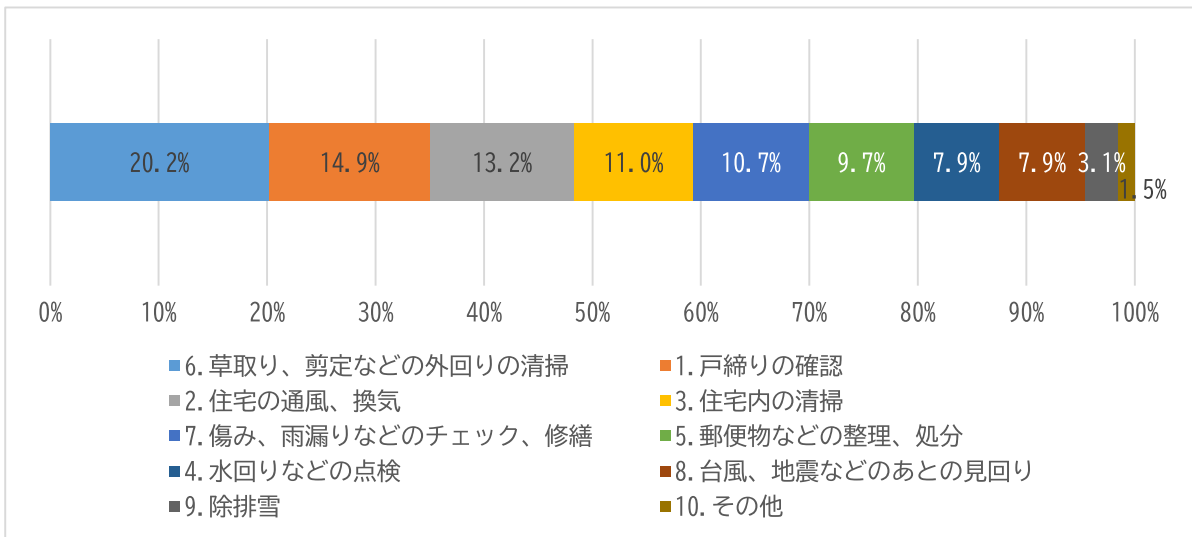
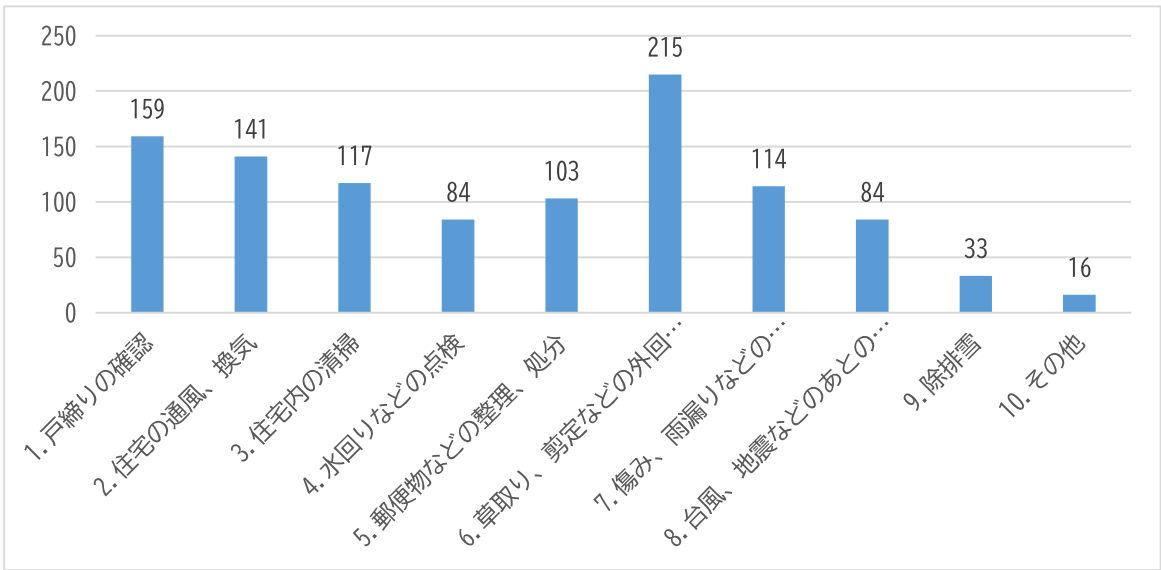
■空き家の管理において心配なこととしては、「住宅の腐朽や破損の進行」が43.1%と最も大きく、次いで「樹木や雑草の繁茂」の20.9%と合わせると全体の6割を超えている。

また、「その他」の内容としては、「子供への相続」「税金がかかる」などの回答があった。

問12-2 どのような管理をしていますか。(〇はいくつでも可)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 戸締りの確認 | 6 草取り、剪定などの外回りの清掃 |
| 2 住宅の通風、換気 | 7 傷み、雨漏りなどのチェック、修繕 |
| 3 住宅内の清掃 | 8 台風、地震などのあとの見回り |
| 4 水回りなどの点検 | 9 除排雪 |
| 5 郵便物などの整理、処分 | 10 その他 () |

【問12-2】 どのような管理をしていますか。

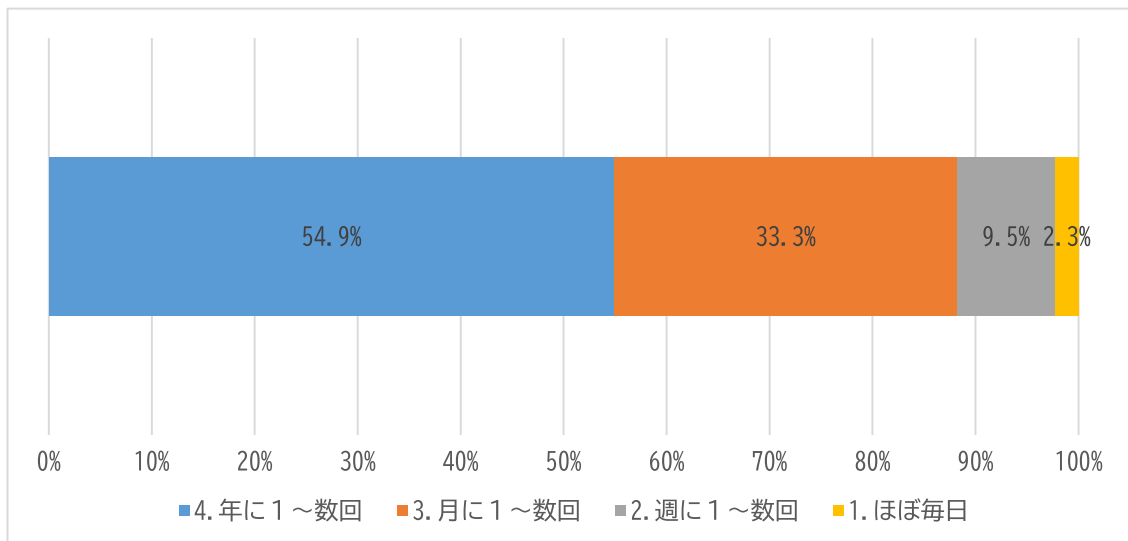
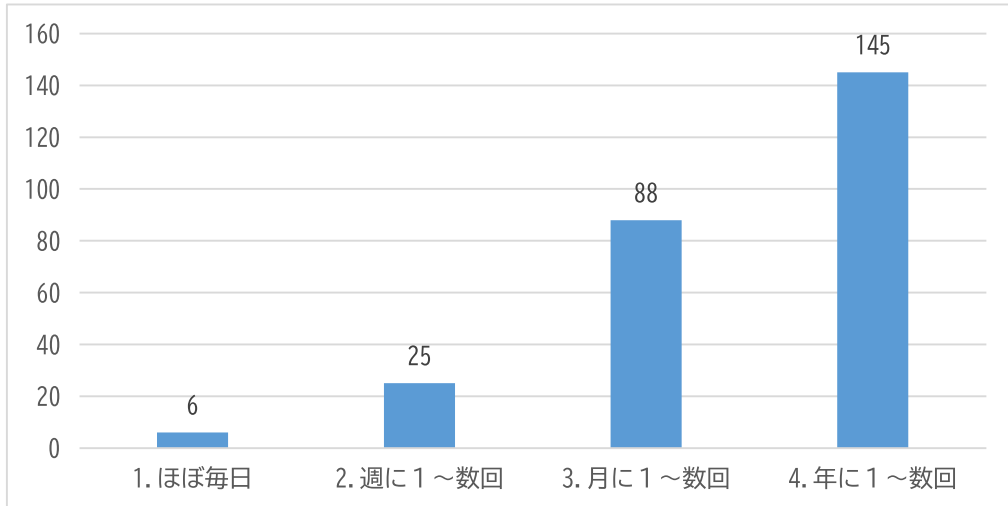


■空き家の管理の内容については、全体的に回答がばらけた印象であるが、「草取り、剪定などの外回りの清掃」が20.2%と目立つ状況である。
また、「その他」の内容としては、「していない」「外部からの侵入防止対策」などの回答があった。

問12-3 どのくらいの頻度で管理をしていますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 月に1～数回 |
| 2 週に1～数回 | 4 年に1～数回 |

【問12-3】どのくらいの頻度で管理をしていますか。



■空き家の管理の頻度については、「年に1～数回」が54.9%と最も大きく、次いで「月に1～数回」の33.3%と合わせると全体の9割弱を占めている。

13. 空き家の維持管理費用について

問13 この空き家の維持や管理に要する年間費用は、おおよそいくらですか。

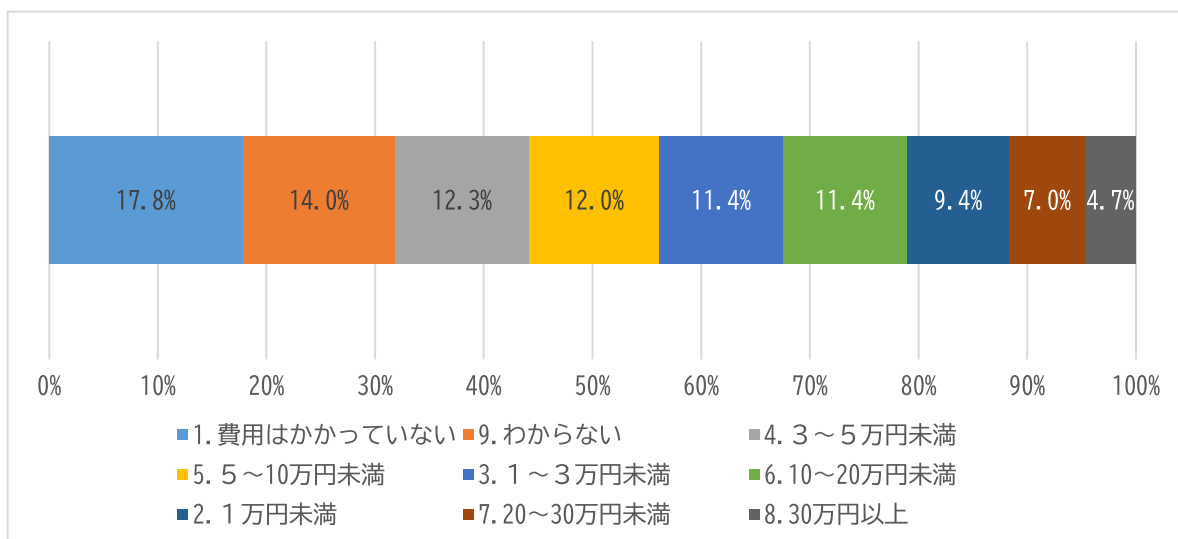
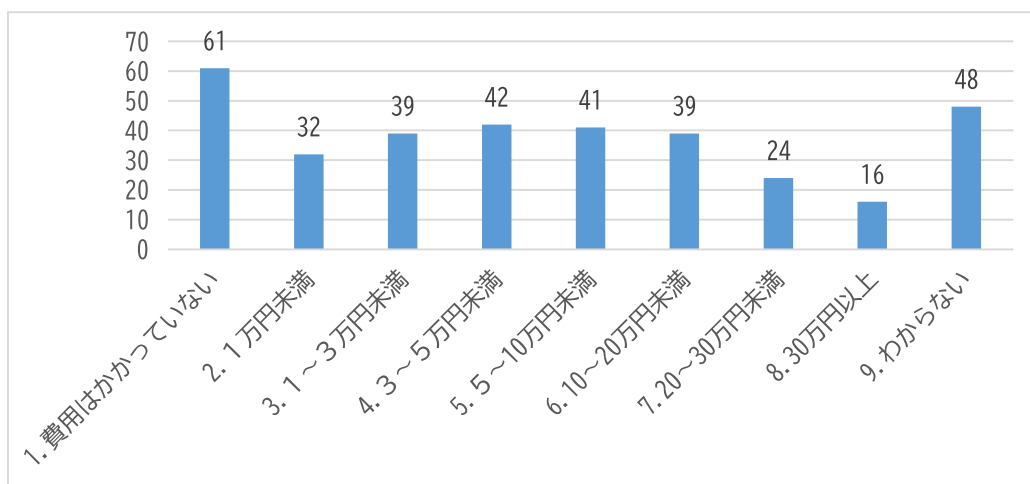
(最も近いもの1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1 費用はかかっていない | 4 3～5万円未満 | 7 20～30万円未満 |
| 2 1万円未満 | 5 5～10万円未満 | 8 30万円以上 |
| 3 1～3万円未満 | 6 10～20万円未満 | 9 わからない |

※管理委託料、電話・ガス・水道等を契約している場合の費用、維持管理の交通費、自治会費などを含みます。

※共同住宅や長屋の場合、共益費や管理費、修繕積立金なども含みます。

【問13】 この空き家の維持や管理に要する年間費用は、おおよそいくらですか。



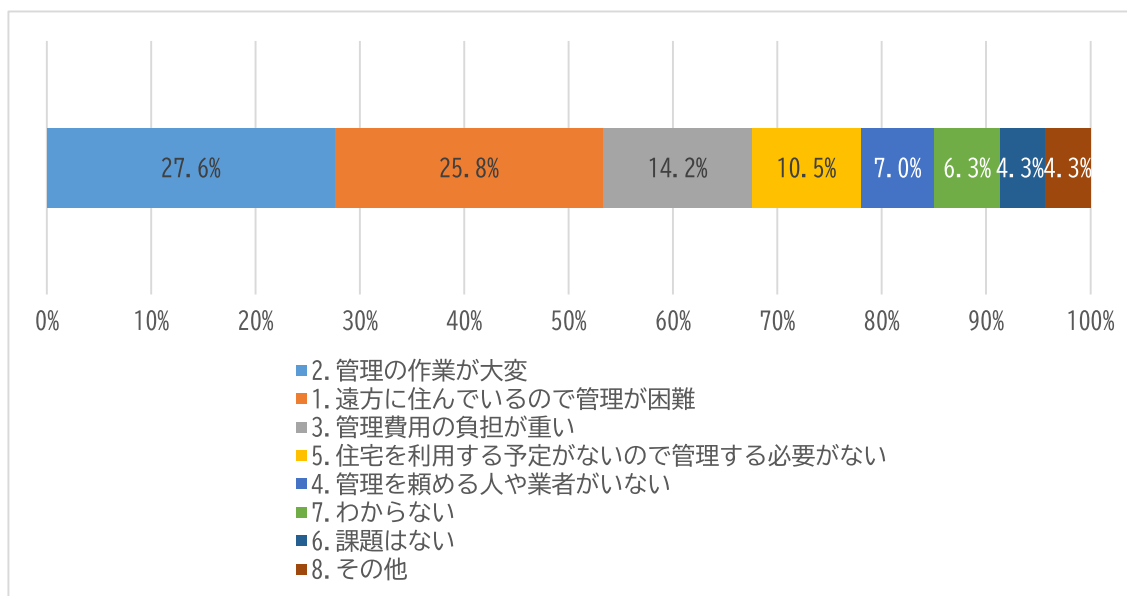
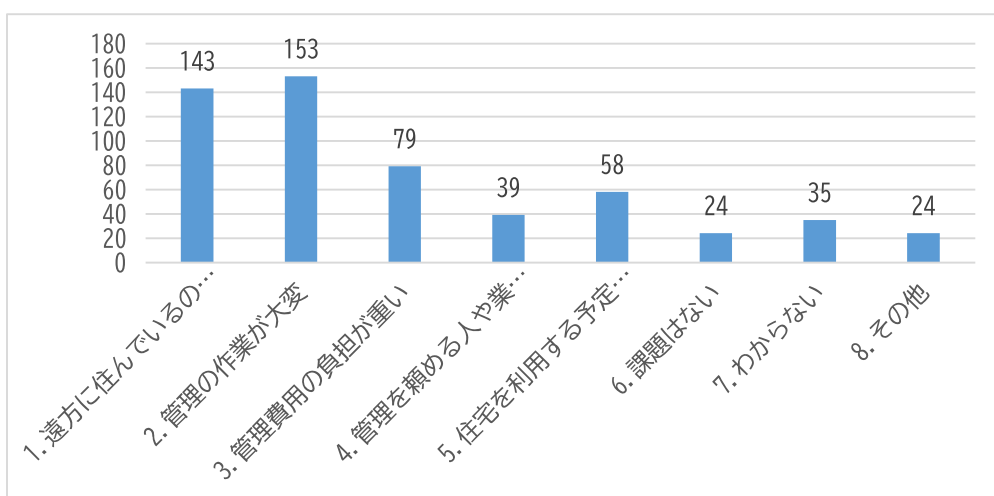
■空き家の維持管理に要する年間費用については回答がばらけたが、「費用はかかっていない」が17.8%と最も大きい結果となった。

14. 空き家の維持管理上の課題について

問14 この空き家を維持する上でどのような課題がありますか。(〇はいくつでも可)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 遠方に住んでいるので管理が困難 | 5 住宅を利用する予定がないので管理する必要がない |
| 2 管理の作業が大変 | 6 課題はない |
| 3 管理費用の負担が重い | 7 わからない |
| 4 管理を頼める人や業者がない | 8 その他 () |

【問14】 この空き家を維持する上でどのような課題がありますか。



■空き家を維持する上での課題については、「管理の作業が大変」が27.6%と最も大きく、次いで「遠方に住んでいるので管理が困難」が25.8%、「管理費用の負担が重い」が14.2%の順となっている。

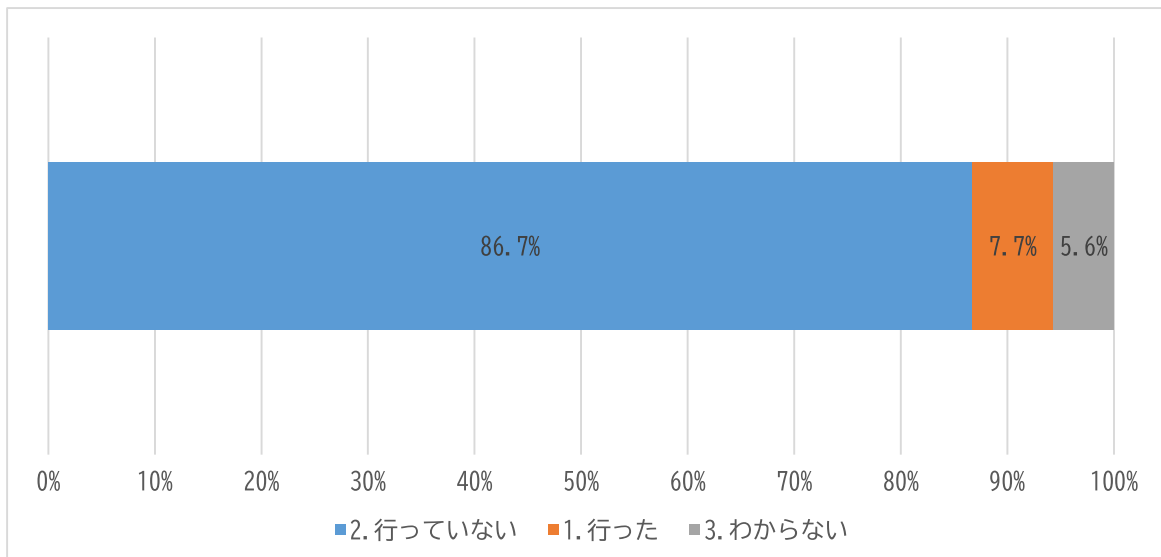
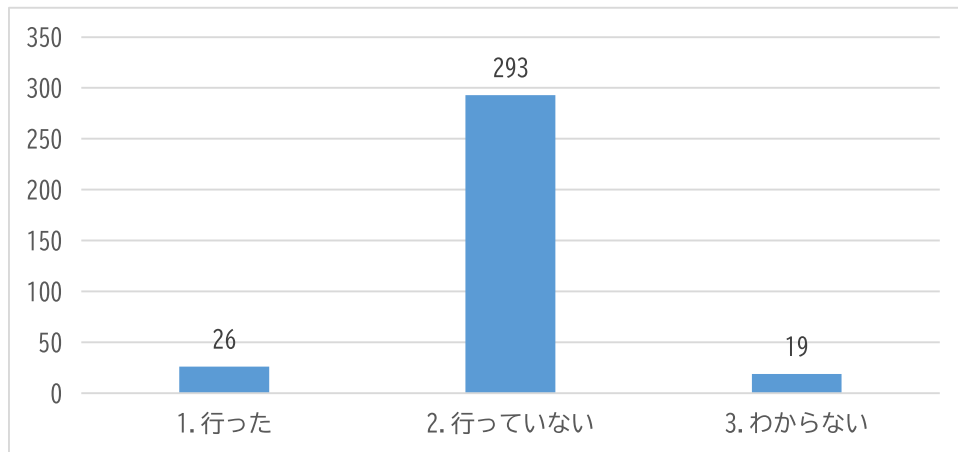
また、「その他」の内容としては、「価値が無く売却先が無い」「維持費の負担が重い」「管理の時間が無い」「災害や火災の心配」などの回答があった。

15. 空き家のリフォームについて

問15 この5年以内に、この空き家のリフォームを行いましたか。(1つに○)

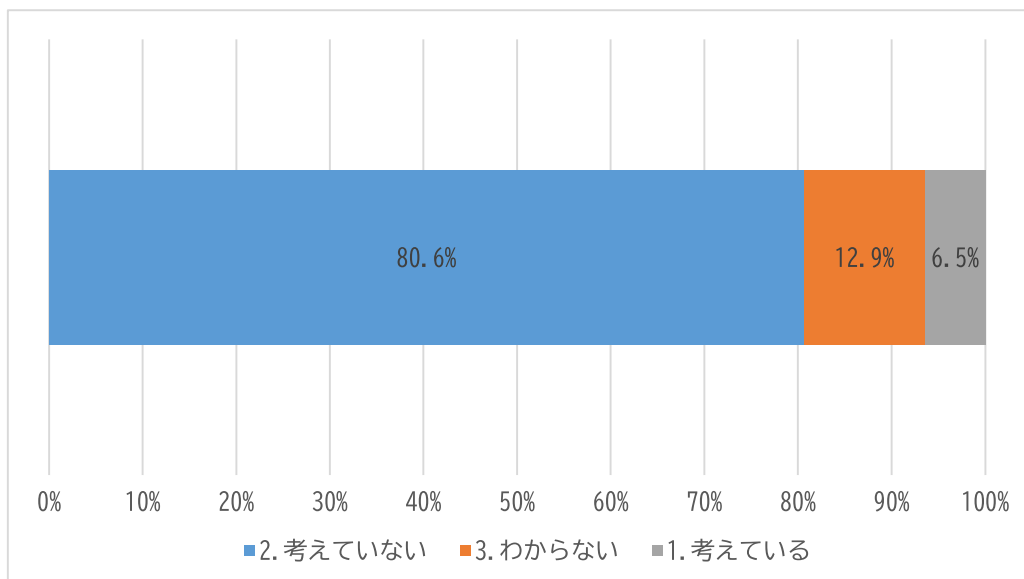
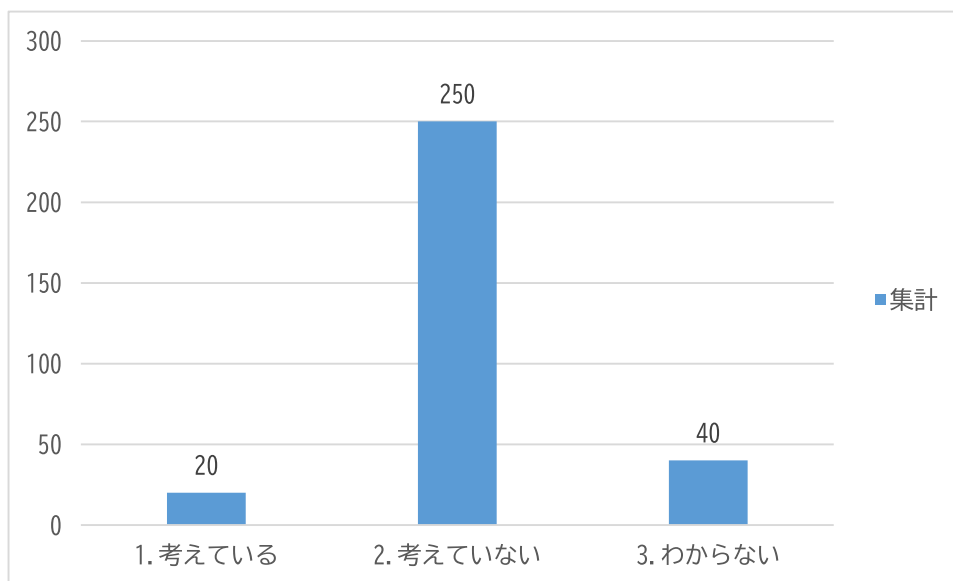
1 行った	2を選んだ方は下記の問いにもお答えください。
2 行っていない →	問15-2 今後5年程度のうちに、この空き家のリフォームを考えていますか(1つに○)。
3 わからない	1 考えている
	2 考えていない
	3 わからない

【問15】この5年以内に、この空き家のリフォームを行いましたか。



■空き家のリフォームについては、「行っていない」が86.7%と圧倒的に高い結果となった。

【問 15-2】 今後5年程度のうちに、この空き家のリフォームを考えていますか。



■ リフォームを行っていないと回答された方の内、今後5年程度の内にリフォームを考えているかについては、「考えていない」が80.6%、「考えている」が6.5%、「わからない」が12.9%であった。

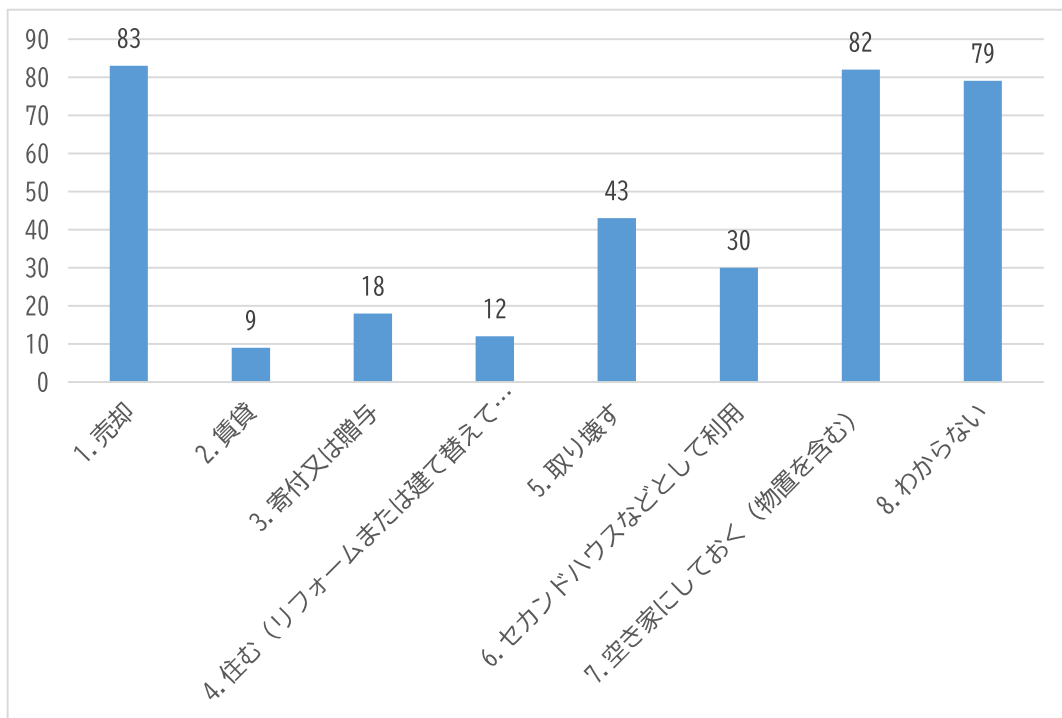
16. 今後5年の空き家利用の意向について

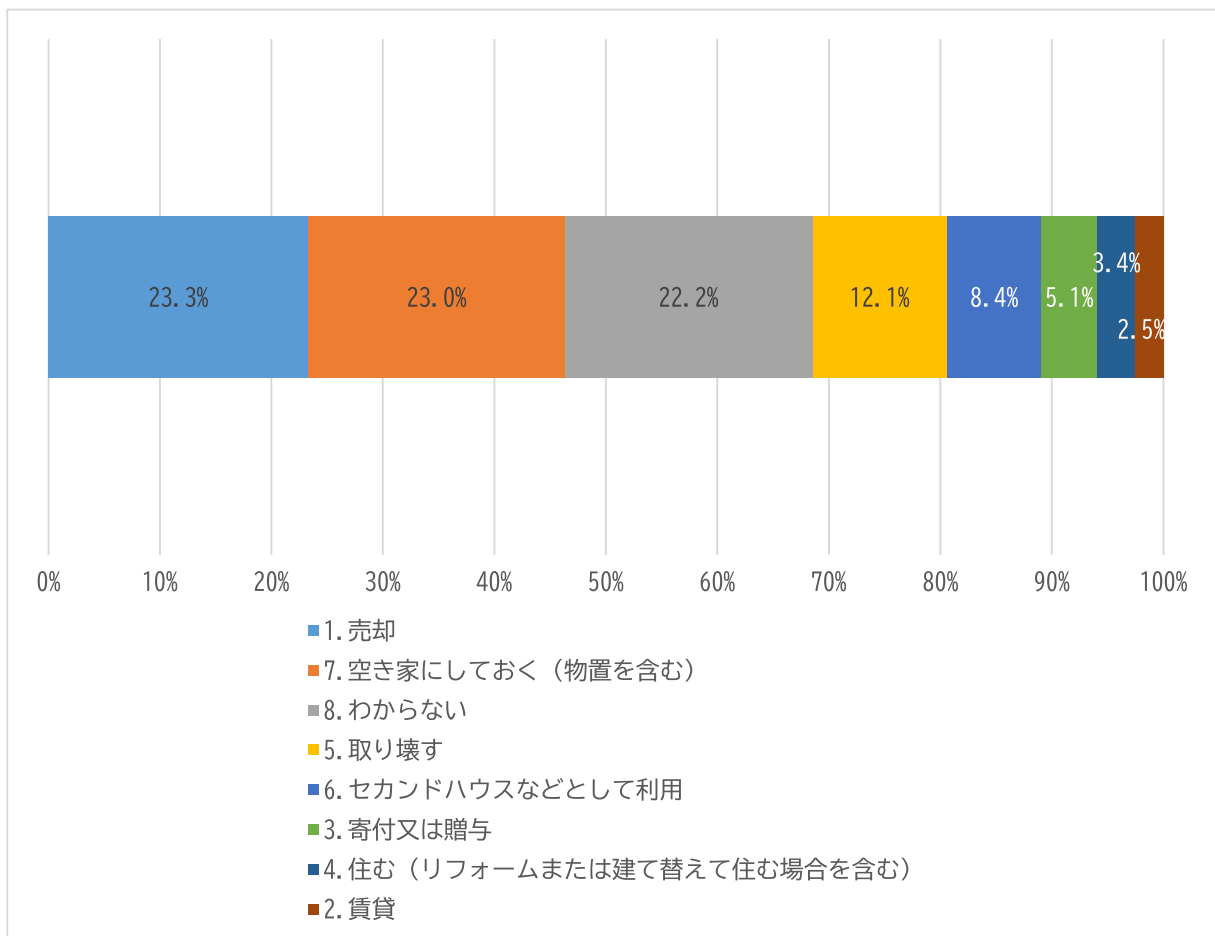
問16 今後5年程度のうちに、この空き家をどのように利用したいですか。

(最も近いもの1つに○)

1 売却	→	1、2を選んだ方は、問16-2、問16-3にお答えください。
2 賃貸	→	
3 寄付又は贈与	→	3を選んだ方は、問16-4にお答えください。
4 住む（リフォームまたは建て替えて住む場合を含む）		
5 取り壊す	→	5を選んだ方は、問16-5、問16-6にお答えください。
6 セカンドハウスなどとして利用		
7 空き家にしておく（物置を含む）	→	7を選んだ方は、問16-7にお進みください。
8 わからない		

【問16】 今後5年程度のうちに、この空き家をどのように利用したいですか。





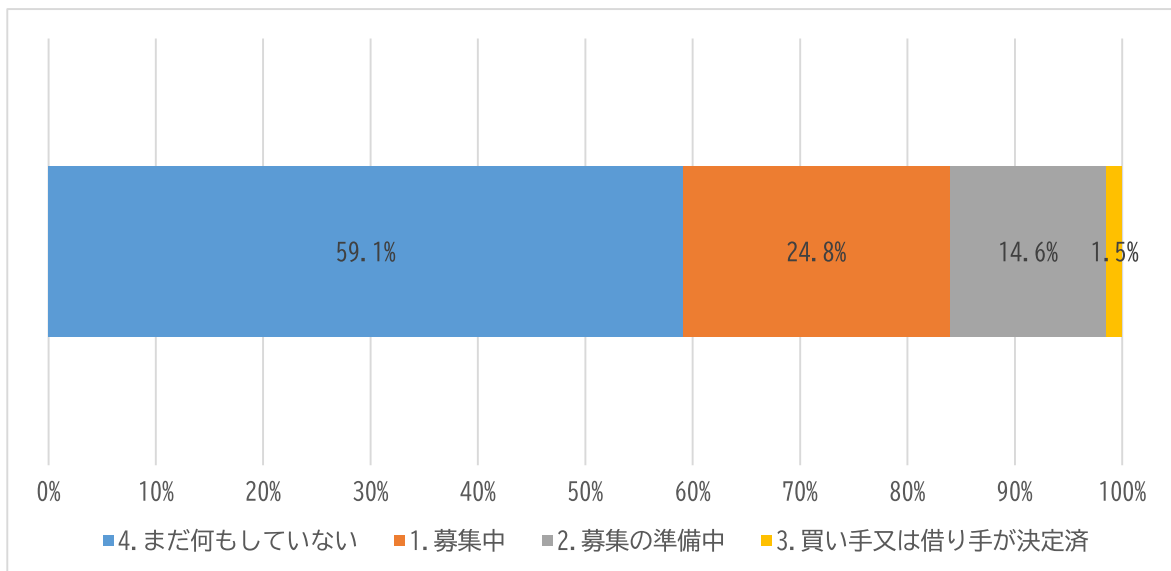
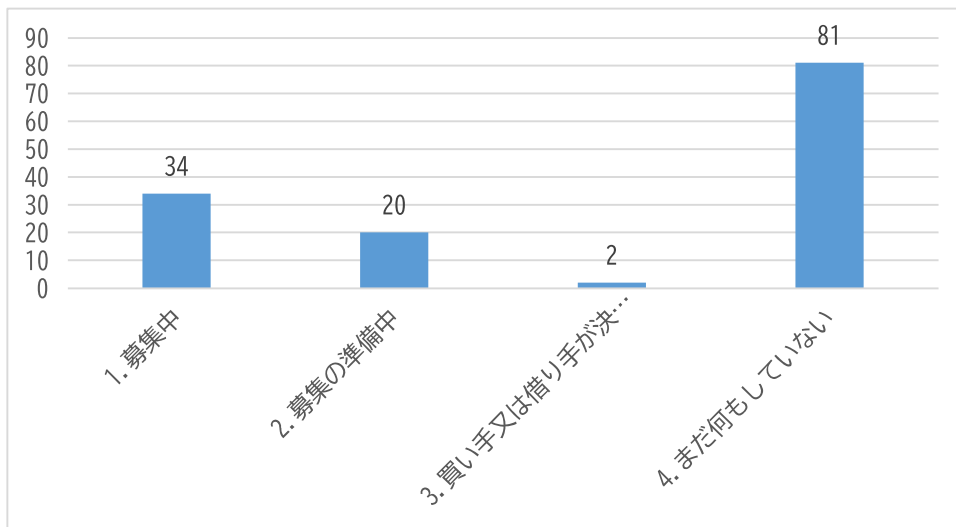
■今後5年の空き家利用の意向については、「売却」が23.3%と最も大きく、次いで「空き家にしておく」が23.0%、「わからない」が22.2%の順となっている。

16-2. 買い手借り手の募集について

問16-2 現在、買い手や借り手を募集していますか。(1つに○)

- | | |
|----------|----------------|
| 1 募集中 | 3 買い手又は借り手が決定済 |
| 2 募集の準備中 | 4 まだ何もしていない |

【問16-2】現在、買い手や借り手を募集していますか。



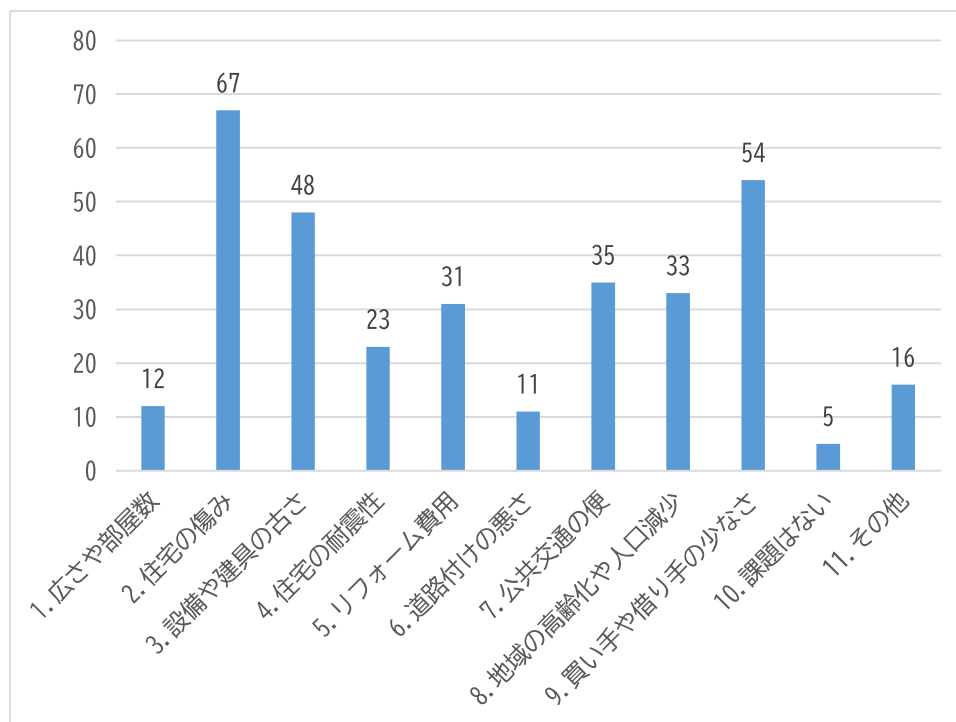
■空き家の売却や賃貸を考えている方に、現在買い手や借り手を募集しているかを聞いたところ、「まだ何もしていない」が59.1%と最も大きく、次いで「募集中」が24.8%、「募集の準備中」が14.6%の順となっている。

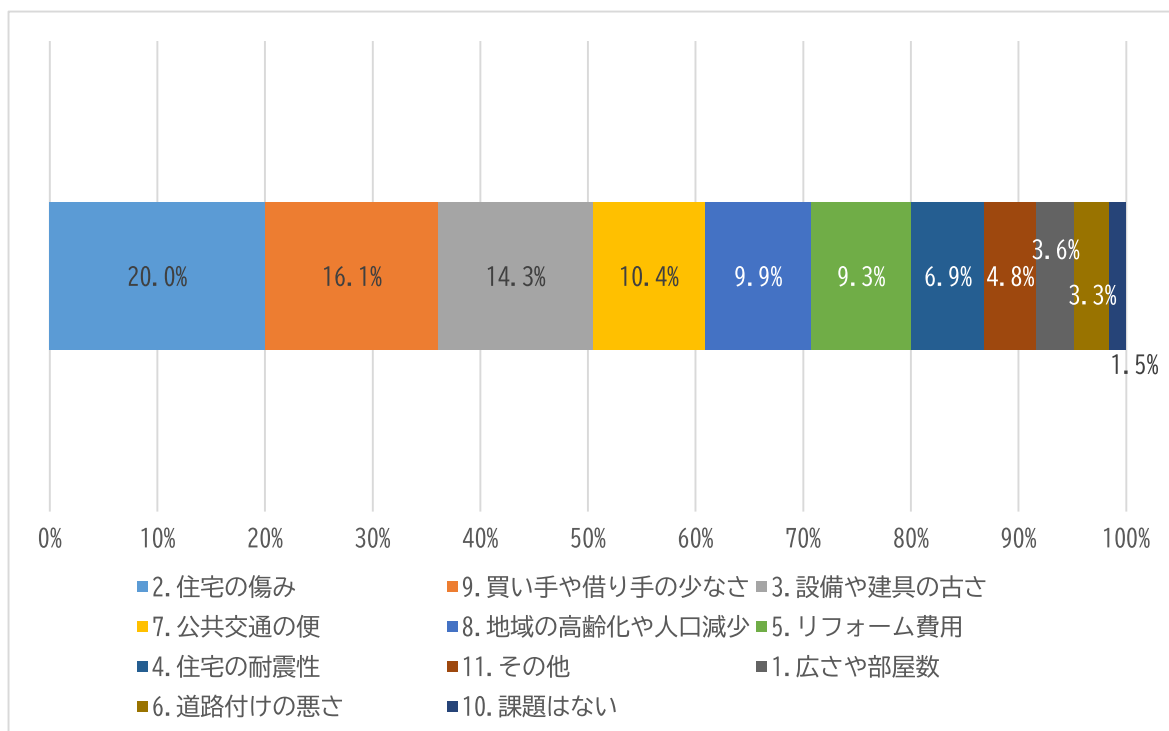
16-3. 売却、賃貸の課題について

問16-3 売却や賃貸する上で、課題はありますか。(〇はいくつでも可)

- | | |
|------------|---------------|
| 1 広さや部屋数 | 7 公共交通の便 |
| 2 住宅の傷み | 8 地域の高齢化や人口減少 |
| 3 設備や建具の古さ | 9 買い手や借り手の少なさ |
| 4 住宅の耐震性 | 10 課題はない |
| 5 リフォーム費用 | 11 その他 () |
| 6 道路付けの悪さ | |

【問16-3】売却や賃貸する上で、課題はありますか。





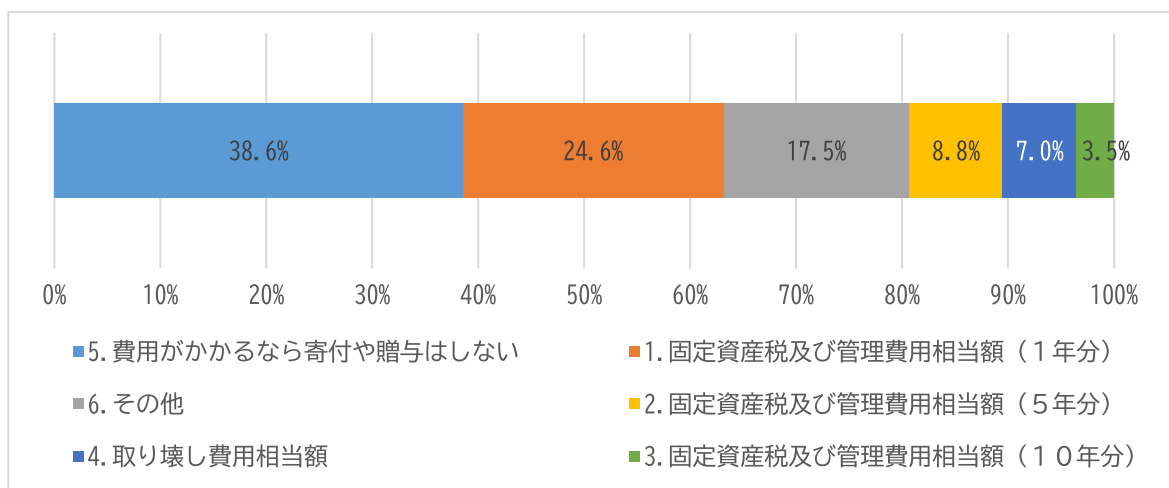
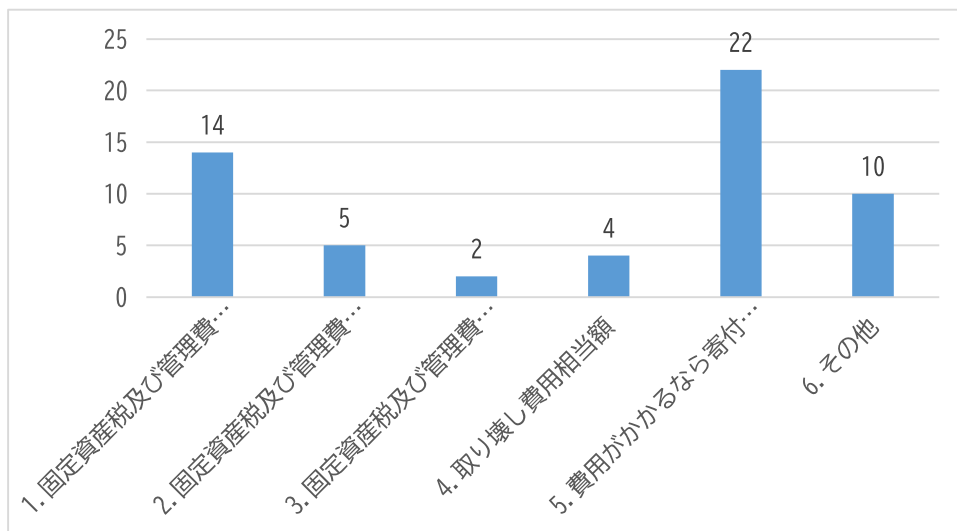
■空き家の売却や賃貸を考えている方に、売却や賃貸する上での課題を聞いたところ、「住宅の傷み」が20.0%と最も大きく、次いで「買い手や借り手の少なさ」が16.1%、「設備や建具の古さ」が14.3%の順となっている。
 また、「その他」の内容としては、「建物が複数あり、それぞれに問題がある」「見たことも無いのでわからない」「所有者がいない」などの回答があった。

16-4. 寄付、贈与に対する費用負担について

問16-4 寄付や贈与のために支払ってもよい費用はおおよそいくらですか。
(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 固定資産税及び管理費用相当額（1年分） | 4 取り壊し費用相当額 |
| 2 固定資産税及び管理費用相当額（5年分） | 5 費用がかかるなら寄付や贈与はしない |
| 3 固定資産税及び管理費用相当額（10年分） | 6 その他（ ） |

【問16-4】寄付や贈与のために支払ってもよい費用はおおよそいくらですか。



■空き家の寄付又は贈与を考えている方に、寄付や贈与のために支払ってもよい費用について聞いたところ、「費用がかかるなら寄付や贈与はしない」が38.6%と最も大きく、次いで「固定資産税及び管理費用相当額（1年分）」が24.6%という順となっている。
また、「その他」の内容としては、「負担不可」「わからない」などの回答があった。

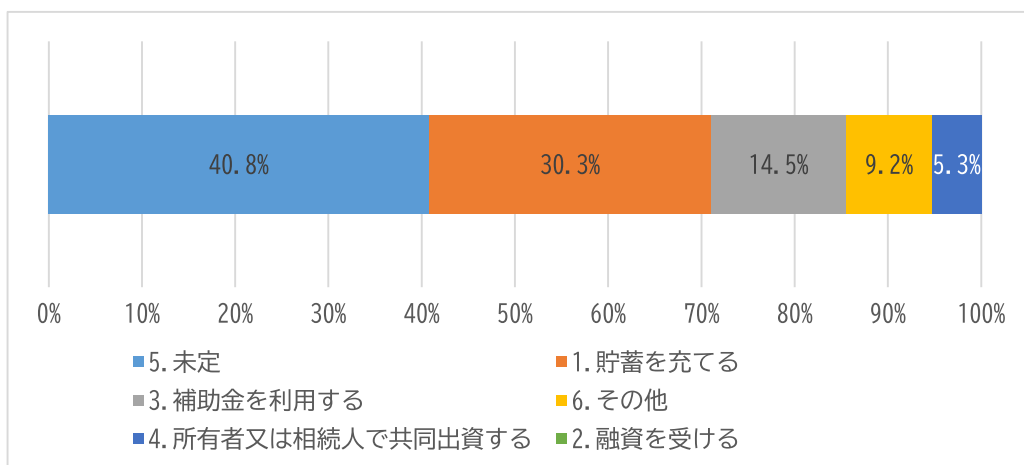
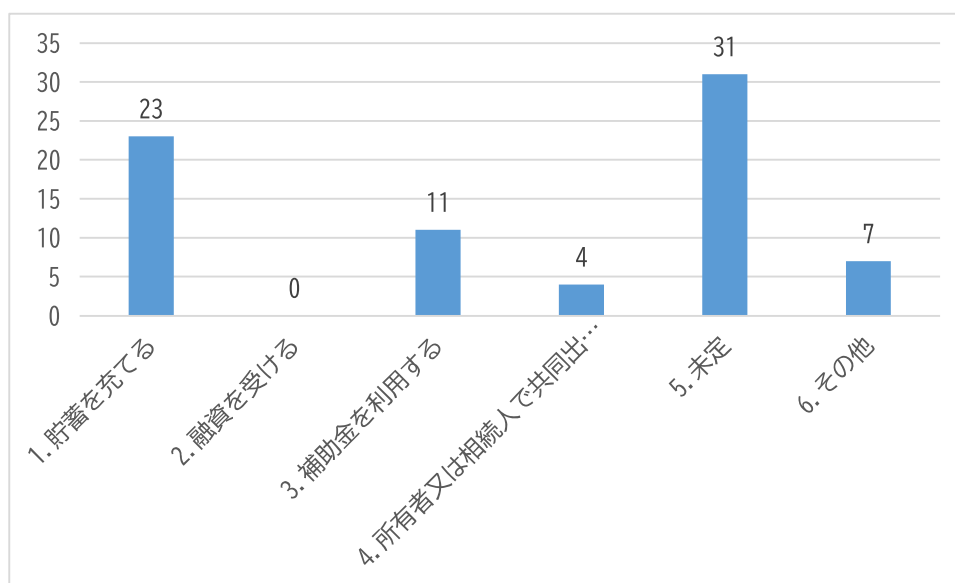
16-5. 取り壊し費用の用意について

問16-5 取り壊すための費用はどのように用意する予定ですか。

(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 貯蓄を充てる | 4 所有者又は相続人で共同出資する |
| 2 融資を受ける | 5 未定 |
| 3 補助金を利用する | 6 その他 () |

【問16-5】取り壊すための費用はどのように用意する予定ですか。



■空き家の取り壊しを考えている方に、取り壊すための費用の用意について聞いたところ、「未定」が40.8%と最も大きく、次いで「貯蓄を充てる」が30.3%、「補助金を利用する」が14.5%の順となっている。

また、「その他」の内容としては、「借地人の負担」「家屋所有者が負担」「土地の売却費用」などの回答があった。

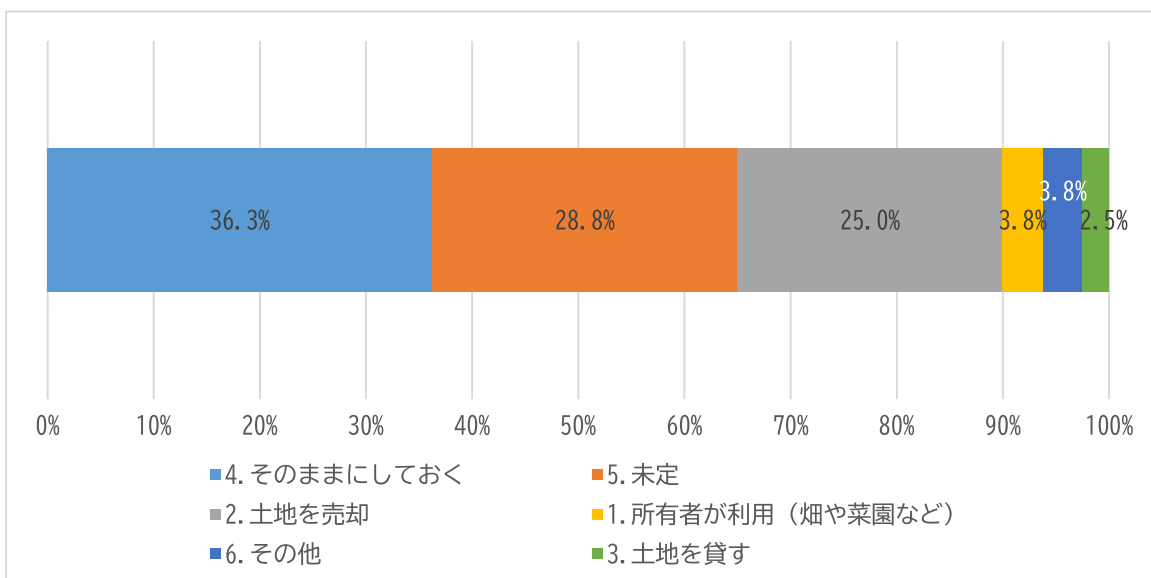
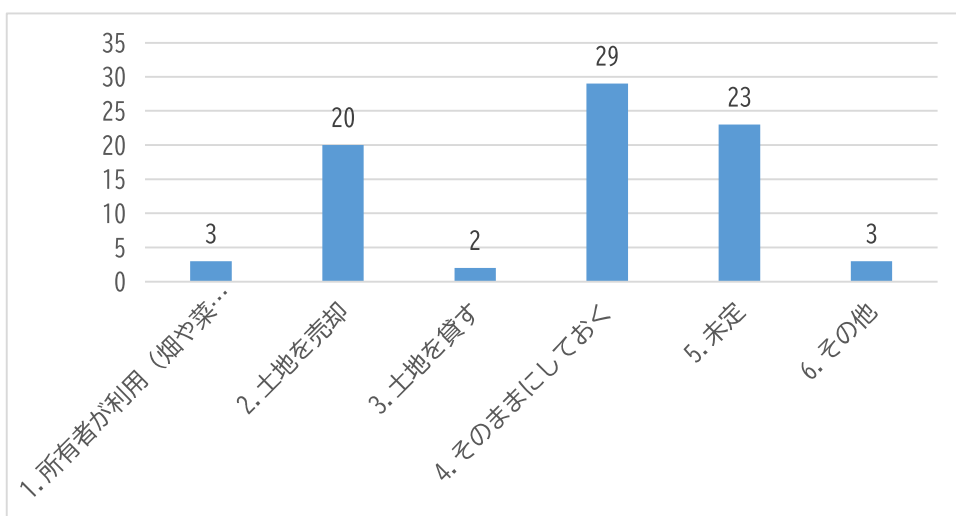
16-6. 取り壊し後の土地の利用について

問16-6 取り壊した後の土地をどのように利用する予定ですか。

(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 所有者が利用（畑や菜園など） | 4 そのままにしておく |
| 2 土地を売却 | 5 未定 |
| 3 土地を貸す | 6 その他（ ） |

【問16-6】取り壊した後の土地をどのように利用する予定ですか。



■空き家の取り壊しを考えている方に、取り壊した後の土地の利用について聞いたところ、「そのままにしておく」が36.3%、「未定」が28.8%、「土地を売却」が25.0%の順となっている。

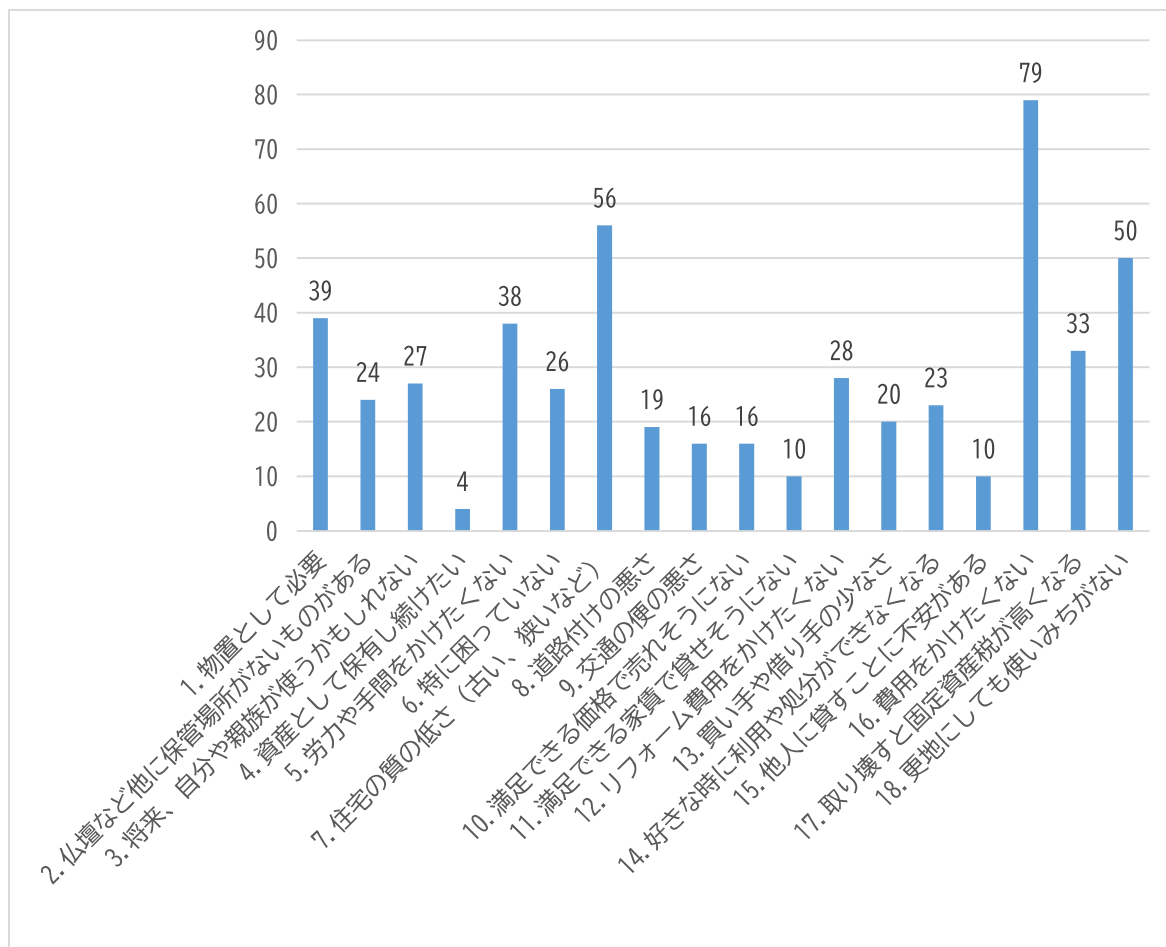
また、「その他」の内容としては、「地目変更」「返却する」などの回答があった。

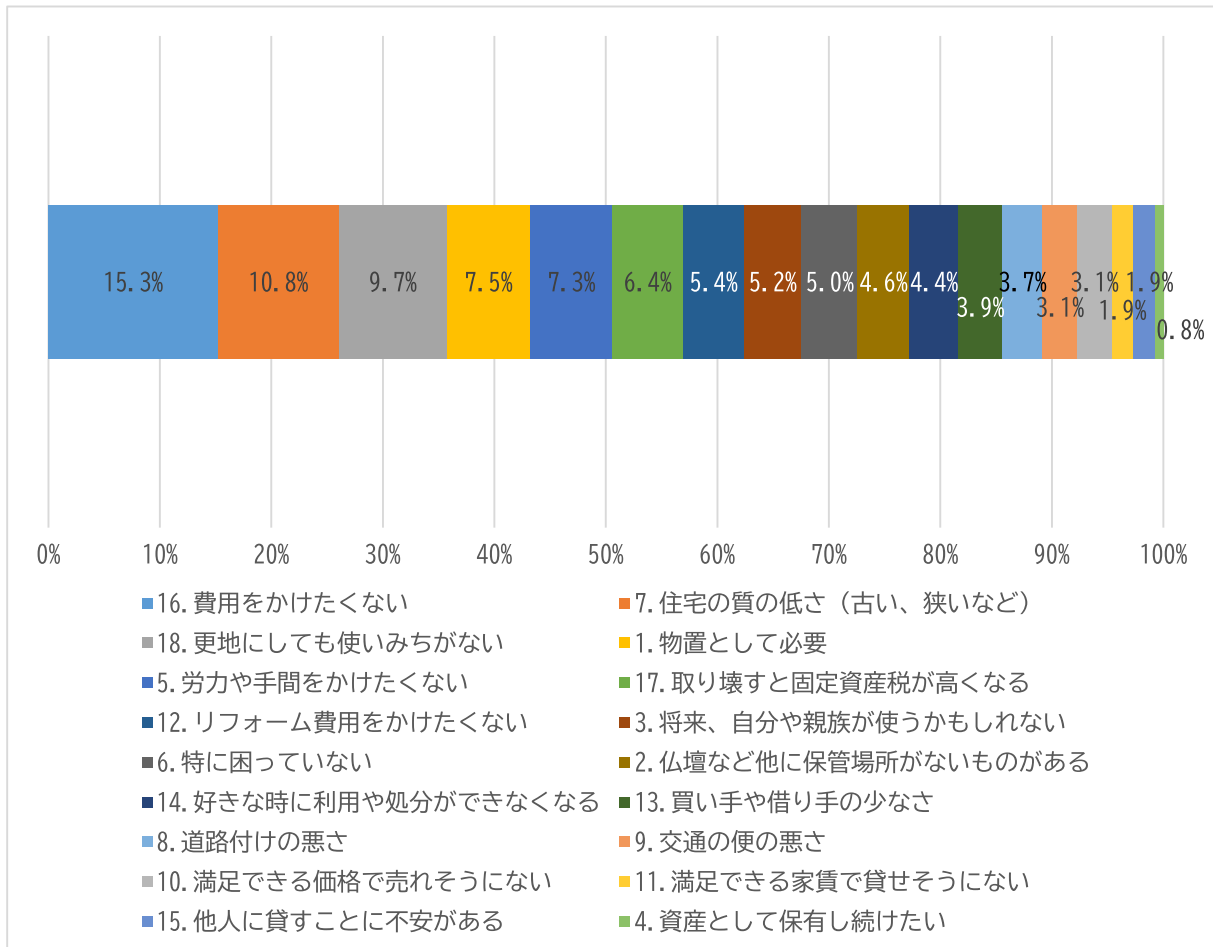
16-7. 売却・賃貸しない、取り壊さない理由について

問16-7 売却や賃貸をしない又は取り壊さない理由は何ですか。(〇はいくつでも可)

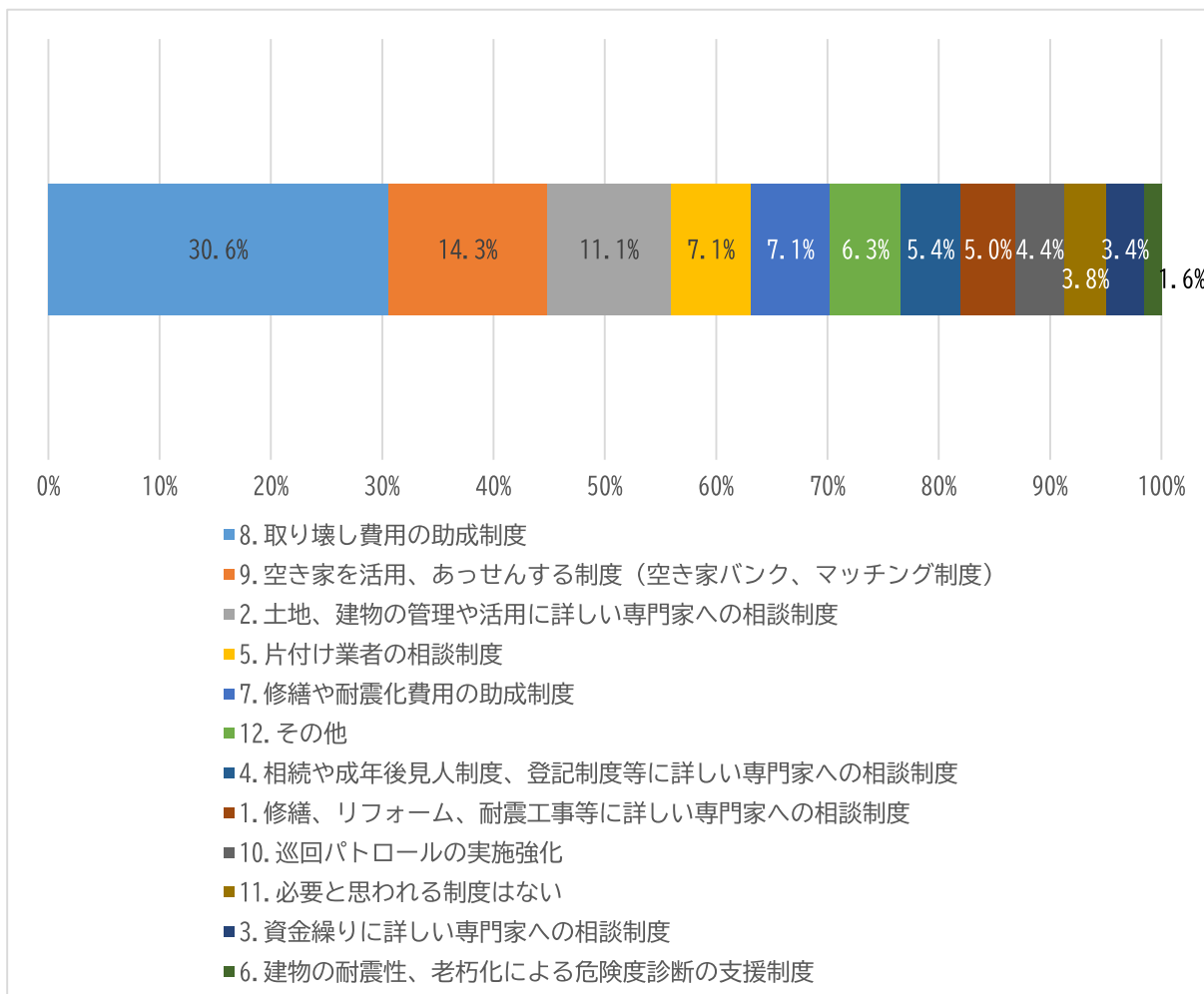
共通の理由	1 物置として必要 2 仏壇など他に保管場所がないものがある 3 将来、自分や親族が使うかもしれない	4 資産として保有し続けたい 5 労力や手間をかけたくない 6 特に困っていない
売却・賃貸しない理由	7 住宅の質の低さ(古い、狭いなど) 8 道路付けの悪さ 9 交通の便の悪さ 10 満足できる価格で売れそうにない 11 満足できる家賃で貸せそうにない	12 リフォーム費用をかけたくない 13 買い手や借り手の少なさ 14 好きな時に利用や処分ができなくなる 15 他人に貸すことに不安がある
取り壊さない理由	16 費用をかけたくない 17 取り壊すと固定資産税が高くなる	18 更地にしても使いみちがない

【問16-7】売却や賃貸をしない又は取り壊さない理由は何ですか。





■空き家をそのままにしておく（物置を含む）と考えている方に、その理由を聞いたところ、「費用をかけたくない」が15.3%と最も大きく、次いで「住宅の質の低さ（古い、狭いなど）」が10.8%、「更地にしても使いみちがない」が9.7%の順となっている。



■空き家の問題解決のために必要だと思う制度については、「取り壊し費用の助成制度」が30.6%と最も大きく、次いで「空き家を活用あっせんする制度（空き家バンク、マッチング制度）」が14.3%、「土地、建物の管理や活用に詳しい専門家への相談制度」が11.1%の順となっている。

また、「その他」の内容としては、「わからない」「自治体への寄贈制度（無償）」「取り壊し費用の無料見積り」「取り壊しても税金が上がらない制度」「トイレ、水道管理に関する相談」「寄付、贈与のための詳細情報」「シルバー人材の幅広い対応」などの回答があった。

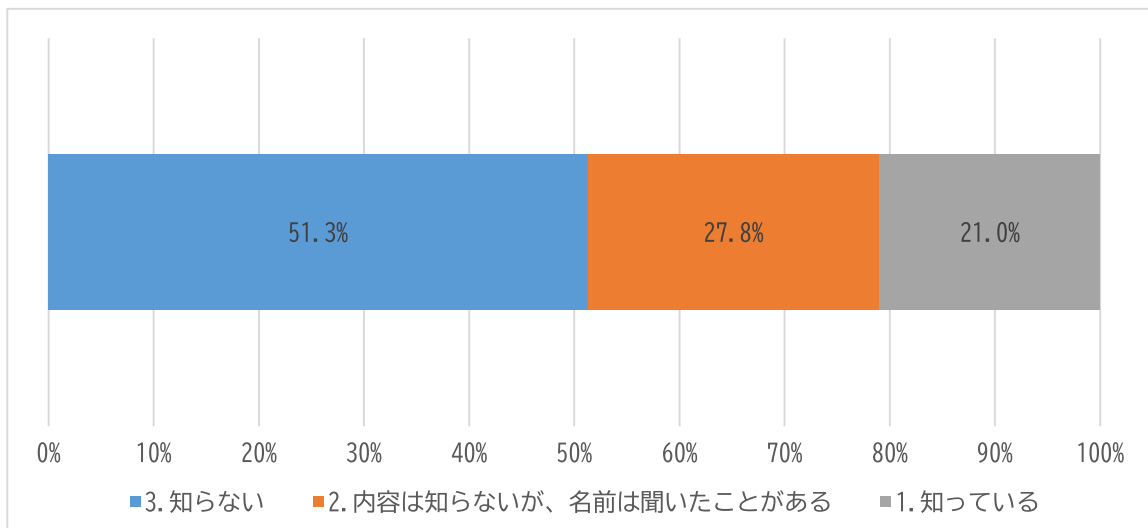
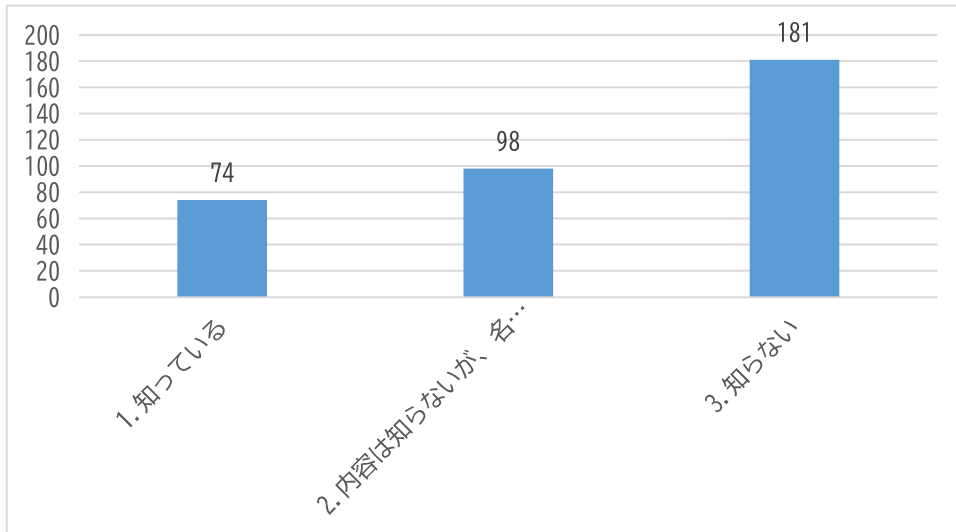
18. 空き家情報登録制度の認知度について

問18 鏡野町では、「空き家情報登録制度」において、不動産業者とのマッチングを実施しています。本制度について、どの程度ご存知ですか。

(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------------------|--------|
| 1 知っている | 3 知らない |
| 2 内容は知らないが、名前は聞いたことがある | |

【問18】「空き家情報登録制度」について、どの程度ご存知ですか。



■空き家情報登録制度の認知度については、「知らない」が51.3%と最も大きく、次いで「内容は知らないが、名前は聞いたことがある」が27.8%、「知っている」21.0%の順となっている。

19. 空家等対策に関するご意見

【問 20】空家等対策に関して、鏡野町に期待する支援、ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見にご意見等を記載していただいた件数は、総数 117 件であった。

【解体・処分費用への支援等に関すること (11 件)】

【売却・譲渡・寄附に関すること (17 件)】

【相続・名義・権利関係の問題に関すること (16 件)】

【管理・維持の負担、高齢化に関すること (12 件)】

【活用・利活用の提案等に関すること (8 件)】

【行政への相談・制度への期待に関すること (21 件)】

【地域衰退・過疎化への懸念等に関すること (4 件)】

【隣地・周囲への迷惑、安全面の懸念に関すること (1 件)】

【その他 (27 件)】

III 參考資料

Ⅲ 参考資料

1. 意向調査票

(宛名ラベル)

整理番号：1001

家屋の状況等に関する実態調査へのご協力をお願い

平素より鏡野町政へのご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

鏡野町では、令和2年度に「鏡野町空家等対策計画」を策定し、空き家問題への対応を進めてきましたが、今後も人口減少に伴う住宅の余剰や高齢化の進展に伴い、さらに空き家が増加することが懸念されています。

本年度、現行計画の期間が満了することに伴い「第2次鏡野町空家等対策計画」の策定を予定しており、その基礎資料とするため、鏡野町内の家屋の所有者の皆様へ実態調査を実施させていただくこととしました。

本調査は、令和6年度に実施した家屋の敷地外からの外観目視による現地調査において、普段使用していない可能性が高いと判断した家屋について、令和7年1月1日時点の固定資産税情報より把握した所在地の土地所有者の方にお送りしています。

※家屋を複数所有されている方については、本調査票を複数発送しております。対象家屋の状況によっては、今後の利活用等のご意向が異なることもございますので、お手数ではございますが、調査票一通ごとにご回答くださいますようお願いいたします。

※お住まい中やご使用中にもかかわらず調査票が送付されてしまった場合は、なにとぞご容赦ください。

調査結果につきましては、鏡野町の施策への反映と統計処理以外には利用いたしませんので、個人情報公表されることはございません。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮でございますが、調査の目的をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年7月 鏡野町

お問い合わせ
鏡野町役場 暮らし安全課
生活安全係

電話番号：0868-54-2621
FAX番号：0868-54-4823

～ ご回答にあたってのお願い ～

- 宛名の方又はその代理の方がご回答ください。
- 現地調査での「普段使用していないと思われる家屋」の判断は、敷地外からの外観目視等により実施しているため、該当家屋が「普段使用している」にもかかわらず抽出されている場合があります。その場合は、**問1**のみご回答ください。
- 複数通の調査票が届いている場合は、対象となる家屋が異なりますので、お手数ですが一通ごとにご回答ください。
- 質問の回答によっては、次の質問の番号が異なる場合がありますので、各設問の指示に従い、お答えください。
- あてはまる回答の番号に○をつけるか、()の中に具体的な数値等をご記入ください。
- 回答期限

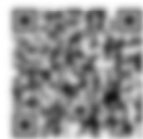
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

令和7年8月29日（金）までに

郵便ポストへご投函ください。（切手は不要です）

本調査はWEBでも回答を受け付けています。

下記QRコードをスマートフォンなどで読み取っていただき、回答の入力をお願いします。



<https://arcg.is/1a48WK2>

WEBにてご回答いただく場合、入力フォームの

「【問0】あなたの整理番号を入力してください」には、

宛名ラベルに記載されている整理番号を数字で入力してください。

WEBでの回答期日は、**令和7年8月29日（金）**です。

次のページから設問がはじまります

以下は問1で「1 空き家となっている」と回答した方におたずねします。

問2 この調査にお答えいただく方はどなたですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 宛名の方ご本人 | 4 宛名の方の代理人、管財人等 |
| 2 宛名の方のご親族 | 5 その他 () |
| 3 宛名の方の相続人(相続登記未了) | |

空き家の状況についておたずねします。

問3 この空き家の所有者は、次のいずれにあたりますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 土地の所有者と同じ(共有者も含む) | 4 借地人等(把握できている) |
| 2 土地の所有者のご親族 | 5 わからない(把握できていない) |
| 3 土地の所有者が関係する法人等 | 6 その他 () |

問4 この空き家の所有者は、どのような経過で家屋を取得しましたか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 既存所有地等に新築又は建替 | 5 敷地と別に相続又は贈与 |
| 2 建物と敷地を購入 | 6 わからない |
| 3 借地に建物を新築又は購入 | 7 その他 () |
| 4 敷地と共に相続又は贈与 | |

問5 この空き家の所有者は何人ですか。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1 1人(単独所有) | 2 2人以上(共有) | 3 わからない |
|------------|------------|---------|

問6 この空き家の「建築時期」はいつ頃ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 昭和25(1950)年以前 | 6 平成13年～平成22(2010)年 |
| 2 昭和26年～昭和45(1970)年 | 7 平成23年～平成27(2015)年 |
| 3 昭和46年～昭和55(1980)年 | 8 平成28(2016)年以降 |
| 4 昭和56年～平成2(1990)年 | 9 わからない |
| 5 平成3年～平成12(2000)年 | |

問7 この空き家の「延べ床面積」はどれくらいですか。(倉庫等附属建物は除く)

() m² または () 坪 1坪≒3.3 m²

※大体の面積で結構ですので、どちらかにご記入ください。
わからない場合は空白のままかまいません。

問8 現在、この空き家はどのように利用されていますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 買い手を探している | 6 別荘や農繁期の拠点として利用している |
| 2 借り手を探している | 7 転勤、入院などで居住者が長期不在だが将来戻る予定のため継続して所有している |
| 3 寄付又は贈与先を探している | 8 上記以外の目的で継続して所有している() |
| 4 リフォーム又は建て替え予定のため利用していない | 9 わからない |
| 5 取り壊す予定のため利用していない | |

問9 この空き家を最後に使用していたのは誰ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--|
| 1 現在の所有者(親などとの同居を含む) | 1～5を選んだ方は下記の問いにもお答えください。
問9-2 住まなくなったのはなぜですか。(最も近いもの1つに○) |
| 2 現在の所有者の親 | |
| 3 現在の所有者の親以外の親族 | |
| 4 借家人 | |
| 5 その他() | |
| 6 新築時から人が住んでいない | |
| 7 わからない | |

問10 この空き家が「空き家になった時期」はいつ頃ですか。

(和暦又は西暦のいずれかに○をつけ、()内に年月を記入してください)

(昭和 ・ 平成 ・ 令和 ・ 西暦) () 年 () 月頃

※おおよその時期で結構です。わからない場合は空白のままかまいません。

問11 あなたは、この空き家の管理についてどのようなことを心配していますか。

(最も深刻なもの1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 住宅の腐朽や破損の進行 | 6 害虫の発生や野良猫などの集中 |
| 2 地震、豪雨などによる損壊や倒壊 | 7 地域の景観への悪影響 |
| 3 不審者の侵入や放火 | 8 心配事はない |
| 4 ゴミの不法投棄 | 9 わからない |
| 5 樹木や雑草の繁茂 | 10 その他() |

問14 この空き家を維持する上でどのような課題がありますか。(○はいくつでも可)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 遠方に住んでいるので管理が困難 | 5 住宅を利用する予定がないので管理する必要がない |
| 2 管理の作業が大変 | 6 課題はない |
| 3 管理費用の負担が重い | 7 わからない |
| 4 管理を頼める人や業者がない | 8 その他 () |

問15 この5年以内に、この空き家のリフォームを行いましたか。(1つに○)

- | | |
|----------|---|
| 1 行った | 2を選んだ方は下記の問いにもお答えください。 |
| 2 行っていない | 問15-2 今後5年程度のうちに、この空き家のリフォームを考えていますか(1つに○)。
1 考えている
2 考えていない
3 わからない |
| 3 わからない | |

問16 今後5年程度のうちに、この空き家をどのように利用したいですか。

(最も近いもの1つに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1 売却 | 1、2を選んだ方は、問16-2、問16-3にお答えください。 |
| 2 賃貸 | |
| 3 寄付又は贈与 | 3を選んだ方は、問16-4にお答えください。 |
| 4 住む(リフォームまたは建て替えて住む場合を含む) | |
| 5 取り壊す | 5を選んだ方は、問16-5、問16-6にお答えください。 |
| 6 セカンドハウスなどとして利用 | |
| 7 空き家にしておく(物置を含む) | 7を選んだ方は、問16-7にお進みください。 |
| 8 わからない | |

※現在の利用方法を継続する場合も、該当するものを選んでください。

4、6、8を選んだ方は、問17にお進みください。

問16-2 現在、買い手や借手を集めていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------------|
| 1 募集中 | 3 買い手又は借手が決定済 |
| 2 募集の準備中 | 4 まだ何もしていない |

問16-3 売却や賃貸する上で、課題はありますか。(○はいくつでも可)

- | | |
|------------|---------------|
| 1 広さや部屋数 | 7 公共交通の便 |
| 2 住宅の傷み | 8 地域の高齢化や人口減少 |
| 3 設備や建具の古さ | 9 買い手や借手の少なさ |
| 4 住宅の耐震性 | 10 課題はない |
| 5 リフォーム費用 | 11 その他 () |
| 6 道路付けの悪さ | |

問17にお進みください

問16-4 寄付や贈与のために支払ってもよい費用はおおよそいくらですか。
(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 固定資産税及び管理費用相当額(1年分) | 4 取り壊し費用相当額 |
| 2 固定資産税及び管理費用相当額(5年分) | 5 費用がかかるなら寄付や贈与はしない |
| 3 固定資産税及び管理費用相当額(10年分) | 6 その他 () |

問17にお進みください

問16-5 取り壊すための費用はどのように用意する予定ですか。
(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 貯蓄を充てる | 4 所有者又は相続人で共同出資する |
| 2 融資を受ける | 5 未定 |
| 3 補助金を利用する | 6 その他 () |

問16-6 取り壊した後の土地をどのように利用する予定ですか。
(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 所有者が利用(畑や菜園など) | 4 そのままにしておく |
| 2 土地を売却 | 5 未定 |
| 3 土地を貸す | 6 その他 () |

問17にお進みください

問18 鏡野町では、「空き家情報登録制度」において、不動産業者とのマッチングを実施しています。本制度について、どの程度ご存知ですか。

(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------------------|--------|
| 1 知っている | 3 知らない |
| 2 内容は知らないが、名前は聞いたことがある | |

問19 さしつかえなければ、お名前とご連絡先のご記入をお願いいたします。

※緊急時やご相談が寄せられた時などに、ご連絡させていただきます。

氏名：	電話番号：
住所：	

問20 空家等対策に関して、鏡野町に期待する支援、ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

ご協力ありがとうございました。

ご記入漏れがないか、今一度お確かめください。

お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**令和7年8月29日(金)まで**にご投函ください。(切手は不要です)

お知らせ

鏡野町では、空き家に対する各種補助事業(活用、除却)や相談会など、早期に空き家問題を解決いただける様々な取り組みを実施しています。

詳細は鏡野町ホームページをご覧ください。
お気軽にお問い合わせください。

HPはこちらから⇒



○活用に関すること

鏡野町役場まちづくり課

電話番号 0868-54-2982

○除却・その他空き家全般に関すること

鏡野町役場くらし安全課

電話番号 0868-54-2621

